

## 第3章 大渕遺跡2次調査

### 1. 調査に至る経緯

1989(平成元)年4月、門間茂夫氏より松山市太山寺町甲474-3番地内における宅地開発にあたって、当該地の埋蔵文化財の確認願いが、松山市教育委員会文化教育課(以下、文化教育課)に提出された。

申請地は松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地『No173 大渕遺跡』内にあたる。当地一帯は、1987(昭和62)年に実施された大渕遺跡1次調査により周知の遺跡として知られている。大渕遺跡1次調査地からは、縄文時代後期から弥生時代までの遺物が検出されており、特に初期農耕(西日本における初期船作伝播)にまつわる遺物が出土したことで注目される。

これらのことから当該地における埋蔵文化財の有無と、さらには遺跡の範囲やその性格を確認するため、1989(平成元)年4月20~26日にかけ文化教育課は試掘及び整理調査を実施した。試掘調査は申請人の立会・確認のもと、東西方向に1本、南北方向に2本のトレンチを設定した。調査の結果、縄文時代後期から中世の遺物包含層を検出し、当該地に初期農耕伝播前後の関連遺跡が広がる可能性が示唆された。

この結果を受け、申請者及び地権者と文化教育課は遺跡の取り扱いについて協議を行い、宅地開発

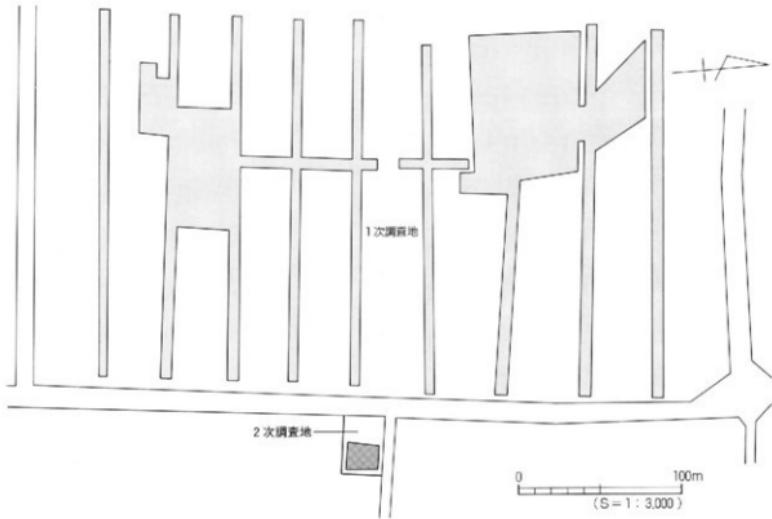


図198 調査地位置図

により失われる遺跡に対し、記録保存のために発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、松山平野北部に位置する太山寺地区の歴史的環境や遺跡の様相を明らかにすることを主目的とし、文化教育課が主体となり、申請者・地権者、松山市教育委員会学校教育課、松山市立北中学校の協力のもと1989（平成元）年6月7日に開始した。

## 2. 調査の概要

### （1）層位

本調査地は、大渕遺跡（現松山市立北中学校）の東側、標高3.5mに立地する（図198）。調査地の現状は、低地の柑橘系果樹園であった。試掘調査のデータをもとに対象地東側に調査区を設定した。今回の調査では耕作土の掘削後に調査地の北西コーナーに任意の基準点を設け、磁北方向に3mのグリット（図199）を設定した。グリットは南から北へA・B・C・D・E、西から東へ1・2・3・4・5・6・7とし、A1、A2、A3…として表記した。掘削は人力により行った。なお灌水の為、発掘作業中は常に排水ポンプを使用した。

調査区内の基本層序は、第1層から第13層までを検出した。上層から第1層耕作土、第2層床土、第3層灰褐色粘質土、第4層灰褐色砂質土、第5層乳灰褐色砂質土、第6層灰色微砂質土、第7層茶褐色粘質土、第8層暗茶褐色粘質土、第9層乳灰色砂質土、第10層明灰褐色砂質土、第11層乳灰褐色微砂、第12層乳灰色粘質土、第13層緑灰色砂質土である（図200）。このうち6層は、5層が漸移的に

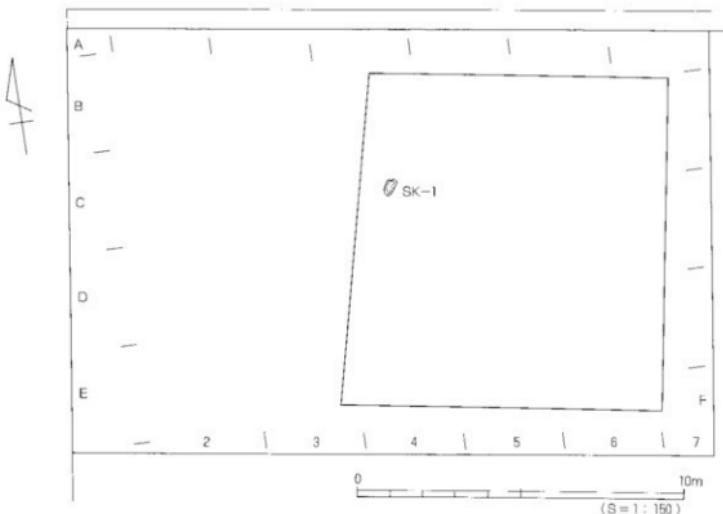


図199 調査地区割り図

大湖遺跡 2 次調査

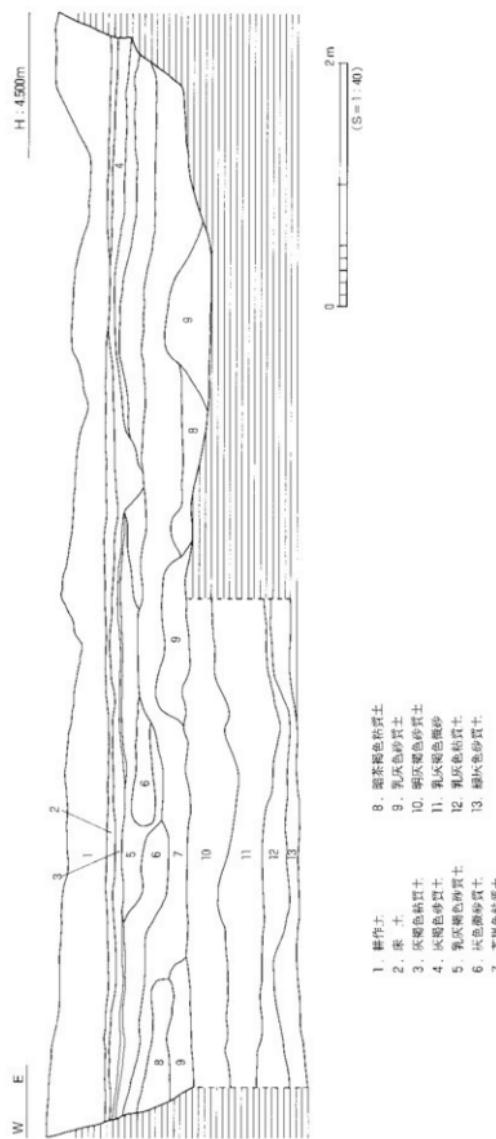


圖200 調査地北壁土層圖

微砂質を帯びてきたものである。また、狭い調査区内での同一層の厚さが5cmに充たない箇所もあり、層の識別に苦慮した。

遺構は、調査区北西部にて土坑を1基検出した。遺物は、縄文時代後期～中世の土器・石器が第4層から第10層にかけて出土した。

## (2) 遺構(図201)

土坑SK-1はC4より検出された。検出面は7層上面である。平面形態は梢円形を呈し、規模は長径54cm×短径26cm、深さ32cmを測る。断面形態は逆台形状である。埋土は灰褐色砂質土である。遺構内出土遺物はなく、時期は不明であるが、ただし遺構内埋土より上層からの掘り込みの可能性があり、同一層と思われる第4層からは、土師器が検出されている。

## (3) 出土遺物(図202～206)

本調査地からは、縄文後期から中世の遺物が約300点出土している。その中で最も多いのは、縄文後期土器である。

遺物の検出は、各層別に行った。また出土遺物の多くが細片であることから遺物の取り上げは、全点ドット方式で行った。以下に層別の説明を行う。

### 1) 10層～8層の出土遺物(図202)

**10層出土遺物(1・3・4)** 1は有文深鉢で、弱く肥厚する口縁部に「J」字状の渦巻沈線文が1条施される。3は無文浅鉢で口縁端部が玉縁状に肥厚される。4は浅鉢の底部である。

**9層出土遺物(5・6)** 5は内外面共に巻貝条痕が看取される無文深鉢である。口端部が僅かに肥厚される。6は弱い波状を呈する。

**8層出土遺物(2)** 有文深鉢で、内湾する脣部の沈線間に磨消縄文(RL)が施される。

### 2) 7層の出土遺物(図203～205)

**有文深鉢(7～13、15～18)** 7は弱く内湾する波頂口唇部に「ハ」字状に沿う沈線1条と頂部から垂下し、左右に開く沈線により区画をなす。8は波頂部から垂下する隆帶に横方向の刻み、いわゆる梯子状の縞帶文様をもつ。9は波頂部が内面に大きく拡張され、中央部が凹む円形の瘤状突起が付される。口唇部にはR刻、その下に3条の沈線が施される。10は波状口縁部で外面肥厚部にRL磨消縄文後、「J」字状の渦巻文が施される。11の口縁部は肥厚され、「ハ」字状の長短の刻みと棒状刺突が施される。また縦横2条の沈線により区画帯が形成される。12は緩やかに波状口縁をなし口縁部は弱く内湾する。逆「U」字形の連弧文下に棒状刺突文が施される。13は波頂部の円柱状突出である。

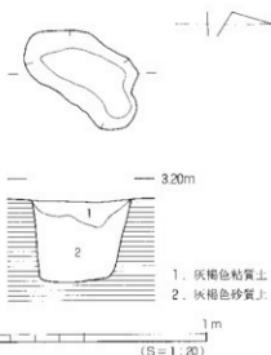


図201 SK-1測量図

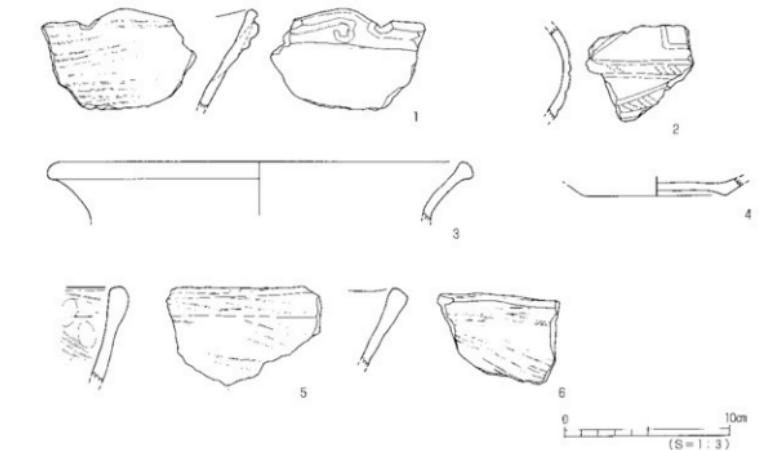


図202 10～8層出土遺物実測図

接続部付近にはR L磨消繩文と上下に細い穿孔がなされる。17は肥厚気味の波状口縁に斜行状に沈線が引かれている。

有文浅鉢（14） 大きく張り出す胴部に3条の「J」字状渦巻沈線文が施され、沈線間にR L繩文が看取される。

無文深鉢（19～26） 20～22は内外面共に条痕調整が施される。21の直口する口縁端面は水平に面取りされる。24～26は高台底をなす深鉢の底部である。

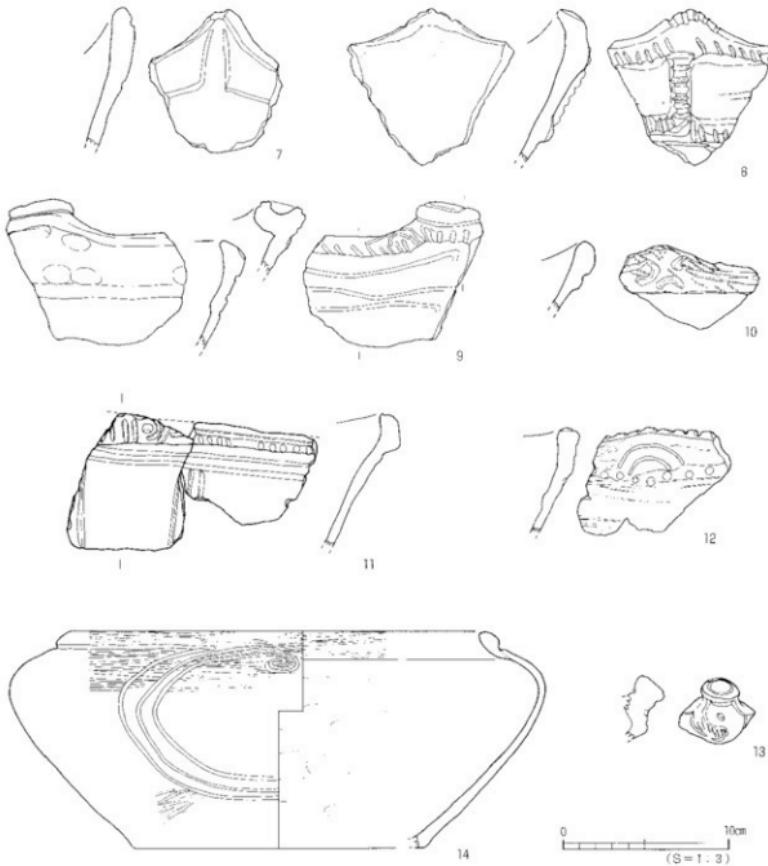
無文浅鉢（27～31） 27は口縁部が短く内湾する。端部は丸く收められる。28は外反する口縁で端部は細く仕上げられる。29は「L」字状の深鉢口縁部である。外面は丁寧な磨きが施される。30・31は高台底をなす浅鉢（30は皿形）の底部で緩やかに外傾する。

### 3) 6層～4層の出土遺物（図206）

#### 6層出土遺物（32～40）

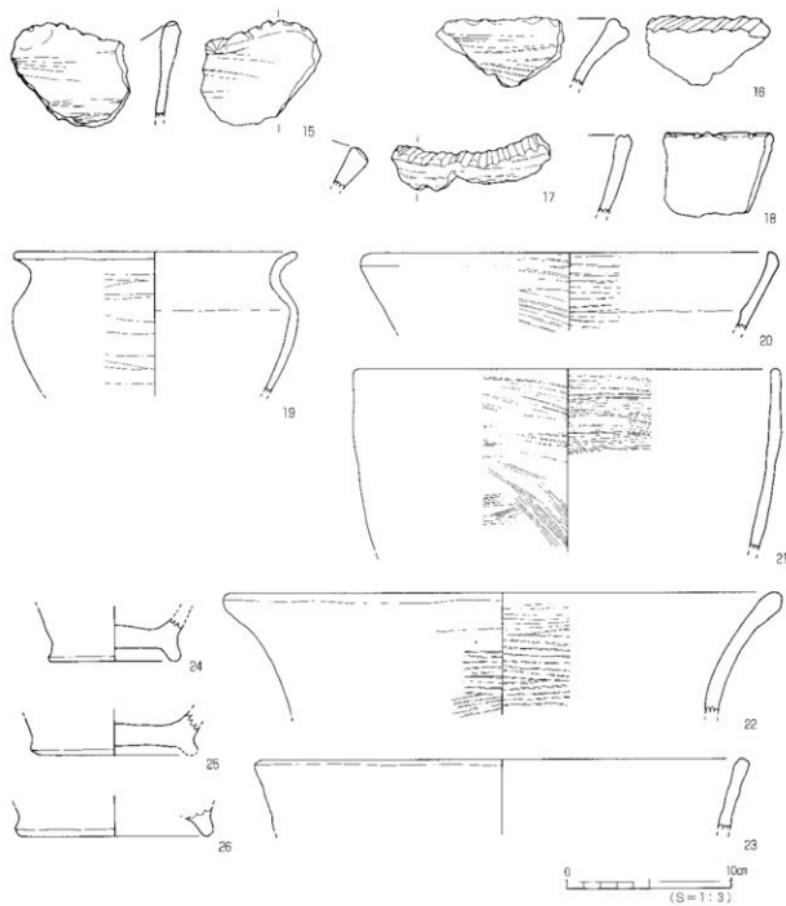
有文深鉢（32～35） 32は波頂部から垂下する2条の沈線と横に走る2段の沈線により、いわゆる窓格状沈線文をなす。33は拡張された端面に1条の沈線が施される。34は丸く肥厚された端面にR刻を施す。35は口唇部に渦巻文と棒状刺突が施される。また側面は直線的な「入」字状沈線により区画がなされる。

大河遺跡 2 次調査



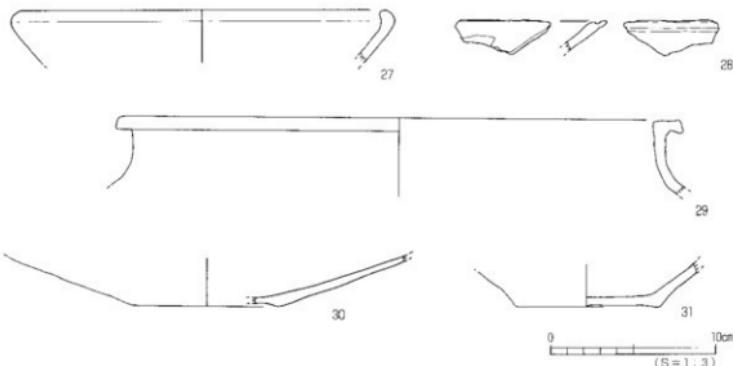
種類 番号	種別	器種	特		色	周	その他の 記述
			外 面	内 面			
7. 横文土器	泥鉢	「し」字彫文。		不詳。	マングン付骨細面	系褐色	
8. 横文土器	泥鉢	波状口縁後部・「泡紋」唇状に分割。梯子状底。	ナジ。	ナジ。	系褐色	灰褐色	
9. 横文土器	泥鉢	「1」字肥厚形に分割。3 斜疣線。	指頭仔痕+ナジ。	系褐色	系褐色		
10. 横文土器	泥鉢	波状口縁、口唇肥厚部に「泡紋」唇状底状底。	摩滅。	研磨面。	淡黃褐色	淡黃褐色	
11. 横文土器	泥鉢	波状口縁部に斜疣。鋸歯状底。	摩滅。	摩滅。	系褐色	灰褐色	
12. 横文土器	泥鉢	波状口縁端部に斜疣。施弧疣状文、斜疣痕点文。	無。	無。	淡青灰色	暗灰褐色	
13. 横文土器	泥鉢	波状→壁沿陶文（R L）、穿孔。					
14. 横文土器	泥鉢	梯子→溝性化溝文→長し縫文。	ナジ。	ナジ。	淡青褐色	淡青褐色	

図203 7層出土遺物実測図(1)



番号	種別	器種	特徴		質		色調		その他
			外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	
15	陶文土器	深鉢	波状口縁、腹部小切、条状。	条表、焦げ付着。	赤褐色	赤褐色			
16	陶文土器	深鉢	水平口縁、L型孔。	条状。	灰白色	灰白色			
17	陶文土器	深鉢	波状口縁、腹部小切、条状。	条状。	赤褐色	灰白色			
18	陶文土器	深鉢	水平口縁、八割。	無付着。	赤褐色	暗赤褐色			
19	陶文土器	深鉢	条表→ナテ。	条状。	灰白色	暗赤褐色			
20	陶文土器	深鉢	U形素孔。	貝殻全表。					
21	陶文土器	深鉢	水平口縁、貝殻全表。	貝殻全表。	灰茶色	灰茶色			
22	陶文土器	深鉢	条状。	条状。	灰白色	灰白色			
23	陶文土器	深鉢	条状。	条状。	灰白色	灰白色			
24	陶文土器	深鉢	素面。	不詳。	赤褐色	赤褐色			
25	陶文土器	深鉢	素面。	不詳。	赤褐色	赤褐色			
26	陶文土器	深鉢	ナテ。	欠損不詳。					

図204 7層出土遺物実測図(2)



層位 番号	種別	名 値	特 製		内 面		色 彩		その他の 記述
			外	内	外	内	外	内	
27	縞文土器	浅鉢	口縁部内溝。	「ナギリ」	乳白色	茶褐色			
28	縞文土器	浅鉢	「I」唇部に沈線。	窓底。	赤褐色	黒褐色			
29	縞文土器	浅鉢	「L」字状口縁。ナギリ。	ナギリ。	赤褐色	黒褐色			
30	縞文土器	浅鉢	窓底。	窓底。	灰青褐色	黒灰色			
31	縞文土器	浅鉢	ナギリ。	ナギリ。	赤褐色	暗灰褐色			

図205 7層出土遺物実測図(3)

無文深鉢 (36、38・39) 36は緩く屈曲する脛部を経て直線的に外傾する口縁部。端部は肥厚気味に丸くおさめられる。38・39は高台底をなす深鉢の底部である。

無文浅鉢 (37) 口縁が外反し、内面がやや肥厚するものである。

多孔底土器 (40) 多孔底土器の破損品で径1.2cm程の焼成前穿孔 (9孔以上) が確認できる。周縁はやや下反りとなる。

4層出土遺物 (41) 土釜の脚接続部である。

#### 4) その他の出土遺物〔層位不明・表採〕(図207)

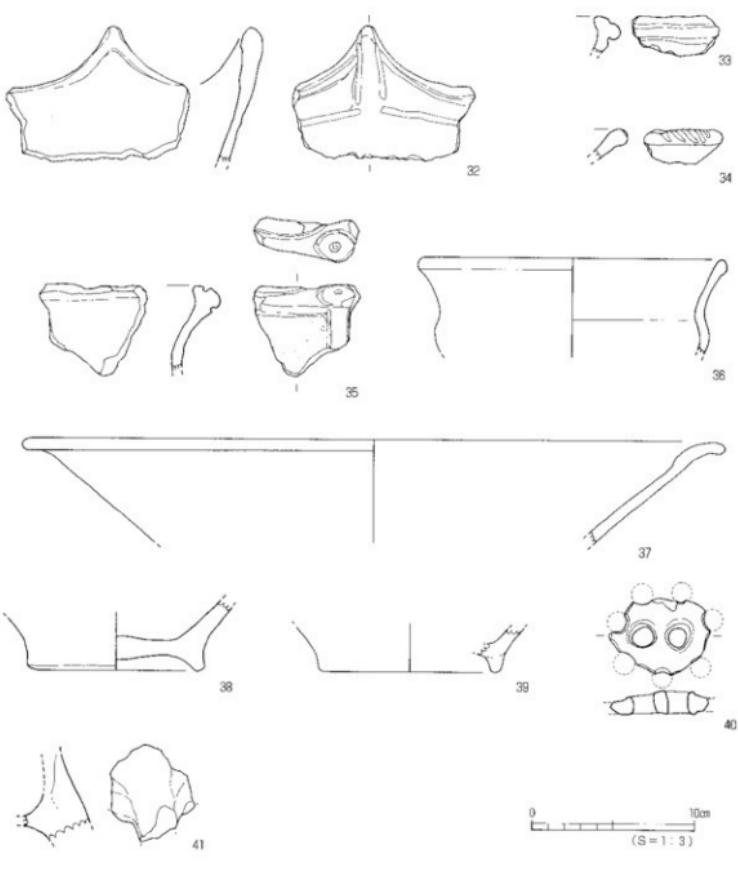
有文深鉢 (42・43) 42・43は共に外面に条痕調整が施される。42は口唇部に「ハ」字状の刻みがなされ、内面には焦げ痕が顯著である。43は弱い波状を呈し、口縁部は肥厚される。

無文深鉢 (44~46) 44は水平口縁をなす。45は口縁部頂部で径1.5cmの円孔が穿たれる。46は高台底をなす深鉢の底部である。

土師器 (47) 土釜の把手で三方に煤が付着する。

2次調査地出土石器 (S 1~S 5) S 1は基部に抉りが認められる打製石鎌である。脚部が一部欠損する。S 2はサヌカイトの石核で周囲からの剥片剥離痕が残されている。S 3・S 4はサヌカイトの石核で側面に一部裸面を残し、本体の両面から交互に剥片剥離が行われている。S 5は乳灰白色を呈する姫島産黒曜石の石核である。

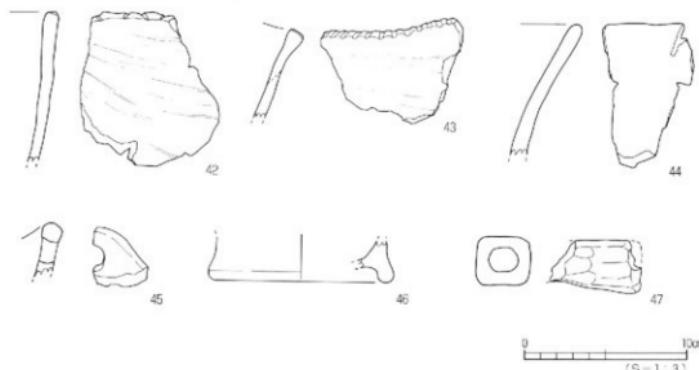
大河遺跡 2次調査



埠番号	種別	器種	特...面		内...面		色	調	その他
			外...面	内...面	外...面	内...面			
32	陶文土器	陶片	圓錐状瓦当沈痕文、唇部調整痕。		摩滅。		淡黃灰褐色	暗灰褐色	
33	陶文土器	鉢	口縁肥厚部に沈痕。		ナゲ。		淡黃色	黃褐色	
34	陶文土器	鉢	口縁部又削、ナゲ。		摩滅。		茶褐色	灰褐色	
35	陶文土器	陶片	口唇加円形沈痕、稜柱状沈痕。		ナゲ。		淡黃み茶色	淡黃褐色	
36	陶文土器	虎鉢	ナゲ。		摩滅、黒斑。		茶褐色	明灰褐色+黑色	
37	陶文土器	虎鉢	磨き。		磨り。		黑褐色	黑褐色	
38	陶文土器	陶片	摩滅。		摩滅。		暗系褐色	暗灰褐色	
39	陶文土器	深鉢	摩滅。		不詳(マンガン等付着)。		灰白色	黃褐色	
40	陶文土器	多孔狀土器	完全2孔、残存2孔。調整摩滅。		摩滅。		灰白色	灰白色	
41	工具質土器	土釜	指印压痕。		複合面(刻み压痕)。		淡黃褐色	青黃褐色	

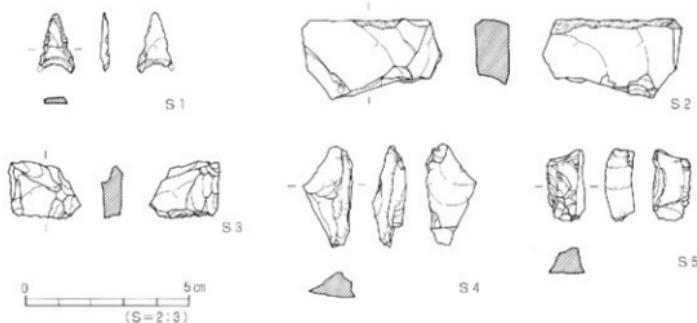
図206 6~4層出土遺物実測図

大洞遺跡 2 次調査



番号	種別	器種	外観図		内部図		色調	その他
			外面	内面	外面	内面		
42	縄文土器	溝跡	口部ハ別、貝取余根。		貝取余根無し付着。		赤黄褐色	暗赤褐色
43	縄文土器	溝跡	波状口縁具根、委傾。		余根。		灰褐色	暗灰褐色
44	縄文土器	溝跡	變底。		余根? 縦け付着。		淡白色	灰褐色
45	縄文土器	溝跡	円凸、岸底。		岸底。		赤茶褐色	淡白色
46	縄文土器	溝跡	ナゾ?		横け付着。		赤褐色	暗褐色
47	土器質土器	土器把手	澤村君。		不詳。.		茶褐色	茶褐色

図207 層位不明・表探遺物実測図



番号	器種	石材	残存度	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	その他
S 1	石器	サヌカイト	ほぼ完形	18.0	11.0	2.0	0.4	10個
S 2	石核	サヌカイト		40.0	21.0	10.0	7.4	7個
S 3	石核	サヌカイト		57.0	37.0	14.0	35.8	7個
S 4	石核	サヌカイト		29.0	23.0	8.0	6.8	7個
S 5	石核	サヌカイト 地山米黒石		29.0	15.0	10.0	5.9	表探

図208 石器実測図

### 3.まとめ

本調査は、主に西接する1次調査地で確認された遺跡様相の東への展開を明らかにすることを目的として実施した。

調査区は、縄文時代晩期の遺物が多量に出土した1次調査地から僅か10mしか離れていないことから、同様の成果が得られるものと当初予想された。調査の結果、層位的編年には困難が伴う出土状況ではあるが、縄文時代後期を中心とした遺物が確認できた。

調査区は、7層をベースに中央付近から東側に緩やかに下り、調査区東壁際で若干上がる低湿地状をなす。3・4層及び10層以下は比較的安定した層の堆積であった。しかし縄文後期土器が最も多く含まれていた5～7層は、若干の乱れが認められる。出土した土器の文様や器壁に大きな損傷が見られないことから、一時的な河川の氾濫等による堆積が推測される。

検出された遺構は、1基の土坑のみであったが、遺物の出土ではなく、時期性格とともに不詳とせざるを得ない。なお西接する大湊遺跡1次調査地においては、縄文時代後晩期に比定される柱穴や土坑等が検出されている。

包含層出土の縄文後期土器の特徴は、まず磨消縄文帯の幅が狭くなっていること（6・13・14）と沈線の末端部が途切れていること（7・9・32）である。これらは福田KⅡ式に比定される。つぎに幾何学的な文様構成をとるもの（6・8）と口唇部の拡張が顕著であること（9・35）である。

これらは広瀬土壇40段階と考える。よって型式比定の結果、本調査地出土の縄文土器の多くは福田KⅡ式から縁帶文成立期（広瀬土壇40段階併行期）の範疇で捉えられるものである。なお14は福田KⅡ式新段階に見受けられる有文深鉢口縁の突起部と同様である。また、8は宿毛式の中に一定量存在している器面に低い隆帯を貼り付け、刻みを施した土器と同タイプであり、松山平野北部に少量ながら存在するものと思われる。

以上、大湊遺跡2次調査の報告を行った。大湊遺跡周辺には、稻作受容期を含む縄文時代後期以降の集落経営が行われていたことが明らかとなってきた。全国的に後期遺跡の報告が急増している中、松山平野における検出の数はさほど増えではない。よって大湊遺跡の検出資料は、平野内における縄文集落の動向を考える上で貴重である。本調査出土の縄文土器は、西部瀬戸内或いは中・四国地方における縄文後期土器編年を検討する上で好資料となるものである。また、検出された宿毛系の縄文後期土器や姫島産の黒曜石は、当時の交易ルートを解明する手掛かりとなるものである。

### 参考文献

- 小都 隆「洗谷貝塚」福山市教育委員会・洗谷貝塚発掘調査団 1976
- 阪本安光「松山市・船ヶ谷遺跡」愛媛県教育委員会 1984
- 泉 拓良・玉田芳英「文様系統論－縁帶文土器－」『季刊考古学 17号』雄山閣 1986
- 栗田茂敏「大湊遺跡」『日本考古学年報40』日本考古学協会 1987
- 栗山茂敏「大湊遺跡」『松山市埋蔵文化財調査年報II』松山市教育委員会 1988
- 官本 一夫「文京遺跡第11次調査出土の縄文土器の検討」「文京遺跡第8・9・11次調査」
- 愛媛大学法文学部考古学研究室・愛媛大学埋蔵文化財調査室 1990
- 栗田正芳・河野史知「古照道跡－第6次調査－」(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター 1993

大洞遺跡 2次調査

武正良浩「大洞遺跡 2次調査地」『松山市埋蔵文化財調査年報Ⅲ』

松山市教育委員会・松山市立埋蔵文化財センター 1993

中野良一ほか『四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書VI－小松町編－鶴来が元遺跡』

(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター 1994

加島次郎『江口貝塚出土の打製石器の変遷』『江口貝塚Ⅱ－縄文後晩期編－』

愛媛大学法文学部考古学研究室編・波方町教育委員会 1994

木村剛朗『四国西南沿岸部の先史文化』幡多埋文研 1995

犬飼徹夫『平城貝塚』御荘町教育委員会 1996

谷若倫郎ほか『糸大谷遺跡』(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター 1996

多田 仁『大除遺跡』津島町教育委員会 2000

※1 本報告と『年報Ⅲ』掲載内容と若干の差異があるが、これは整理作業をするにつれて明らかにされたため、本報告で正式なものとした。ご了承頂きたい。

※2 報告書作成中、中野良一氏（愛媛県埋蔵文化財調査センター）には貴重なご指導を賜りました。記して感謝致します。

# 写 真 図 版

## 写真図版

1. 遺構の撮影は、調査担当者が行った。巻頭航空写真は、国際興業株式会社による。

2. 遺物の撮影は、大西朋子が行った。

使用機材：

カメラ	トヨノビューアー45G	レンズジンマーS240mm
ストロボ	コメット／CA-32・CB2400（パンク使用）	
スタンド他	トヨノ無影撮影台・ウエイトスタンド101	
フィルム	プラスXパン・エクタクロームEPP	

3. 白黒写真の現像と焼き付けは、一部を除いて大西が行った。

使用機材：

引伸機	ラッキー450MD	レンズ エル・ニッコール135mm
	ラッキー90MD	エル・ニッコール50mm
印画紙	インフィールドマルチグレードIVRC	
フィルム現像剤	コダックHC110	

4. X線写真は、奈良国立文化財研究所による。

[参考]『埋文写真研究』Vol.1~10

大溝遺跡

図版

1



調査前全景（西より）



調査前近景（南東より）

大河遺跡

図版

2



A区土坑・柱穴群（南東より）



A区土坑群（南より）



A区土坑SK-1遺物出土状況（北より）



A区土坑SK-6遺物出土状況（北東より）

大 洞 遺 跡

図  
版

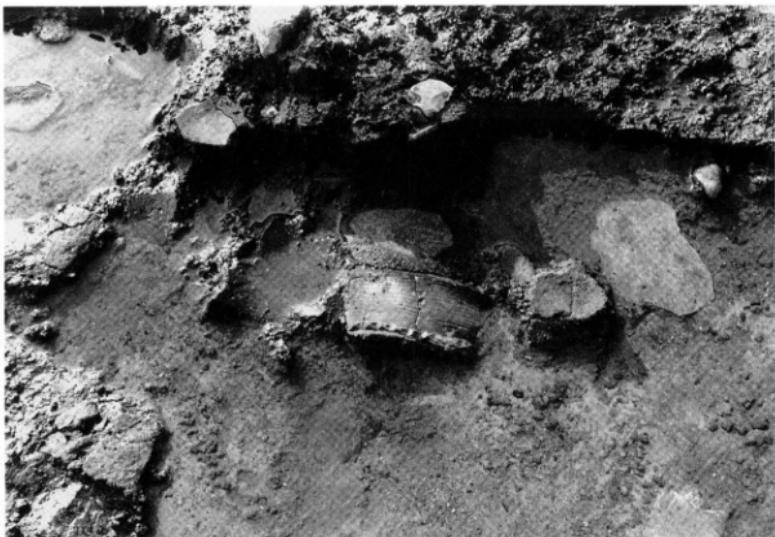
4



A区湿地の掘削状況（南東より）



A区湿地内第5層遺物出土状況（北西より）



A区湿地内第5層深鉢出土状況



A区湿地内第5層浅鉢出土状況

圖版

6



A区湿地内第5層彩文壺出土状況



A区湿地内第5層石庖丁出土状況



A区湿地内第7層朱漆塗り結齒式豎櫛出土状況

大洞遺跡

図版

7



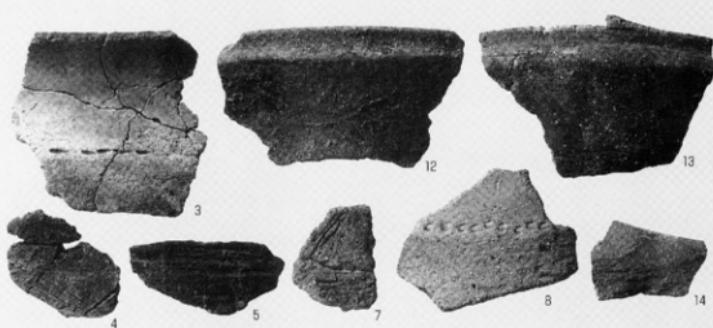
A区湿地内土層堆積状況（南より）



B区土器溝まり SX-1 全景（北西より）



2



A区SK-1出土遺物

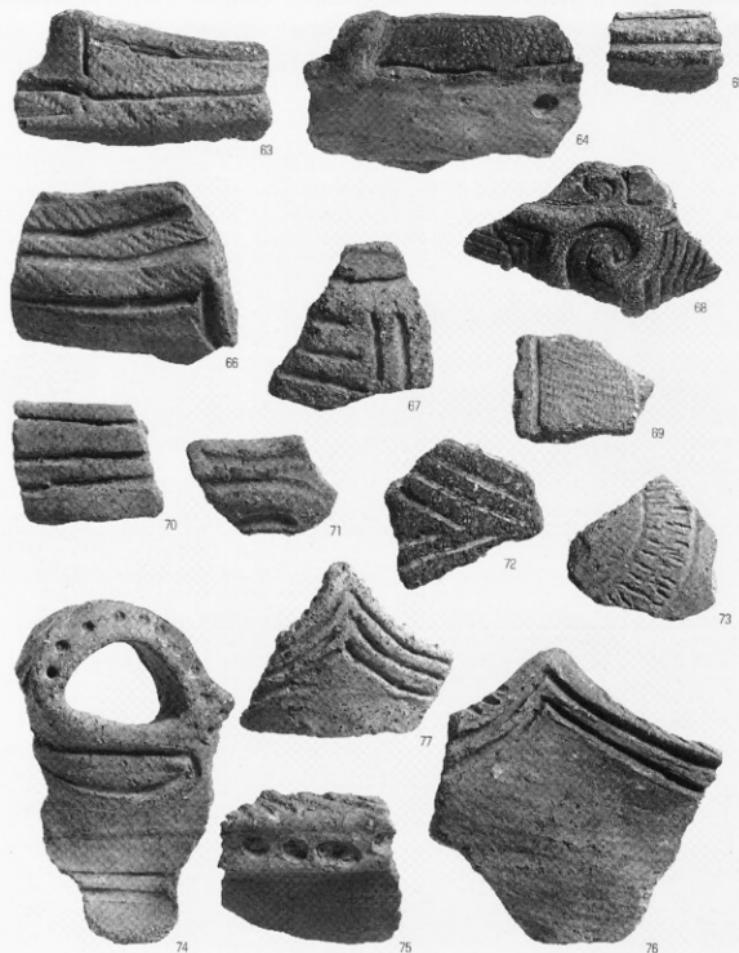
大圓遺跡

圖版

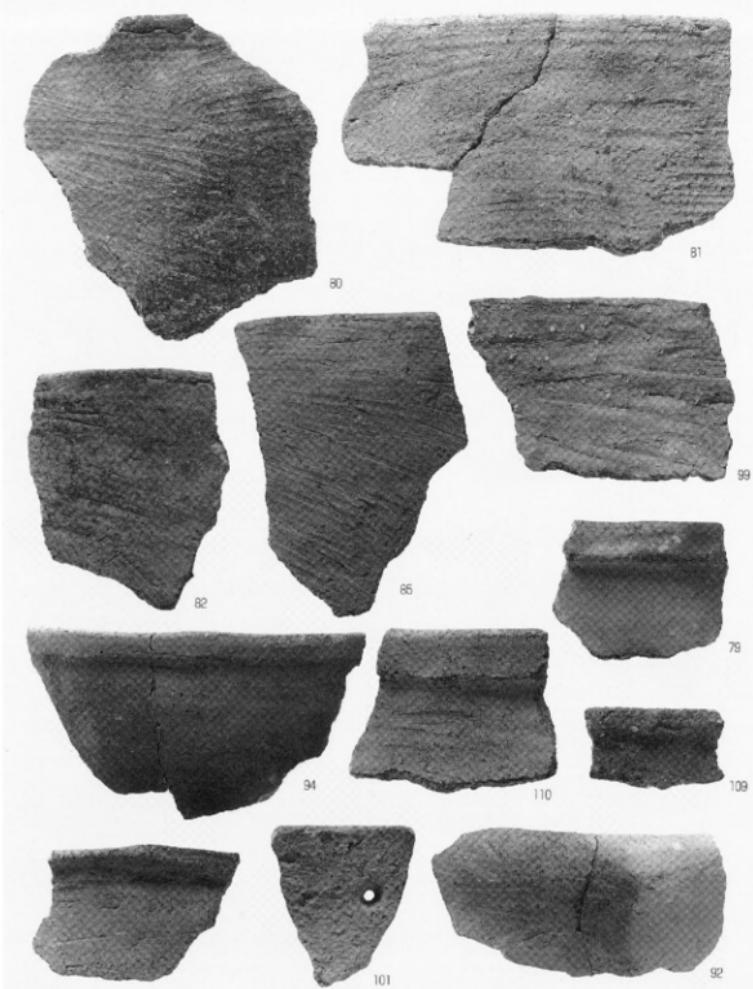
9



A区SK-5・6・8出土遺物



A区湿地内第9C層出土遺物(1)

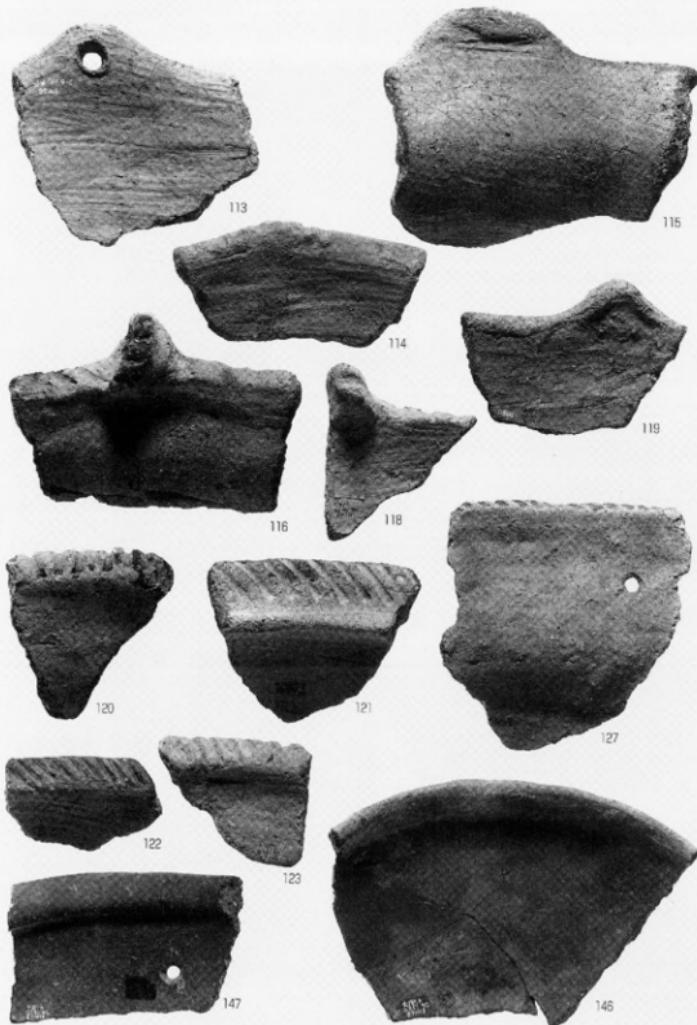


A区湿地内第9C層出土遺物(2)

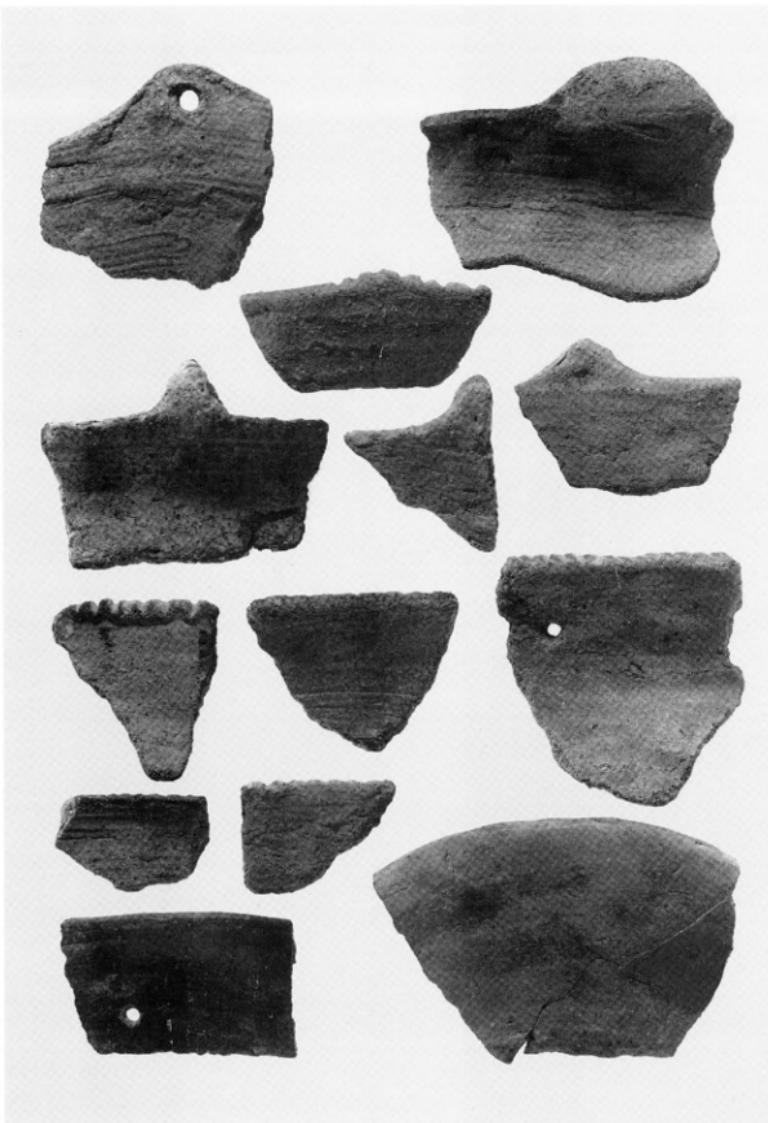
大河遺跡

圖版

12



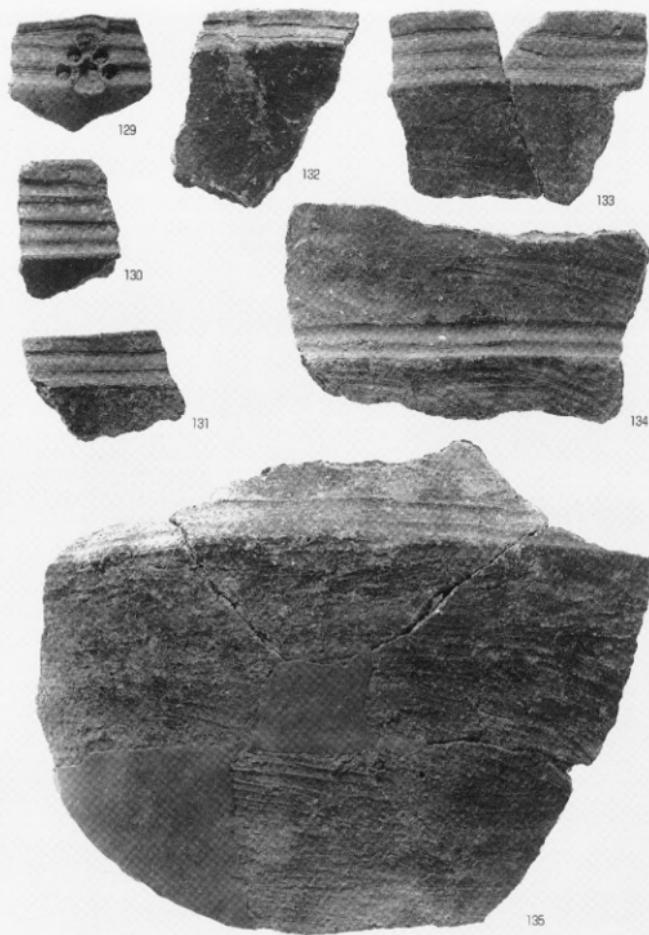
A区湿地内第9C層出土遺物(3)



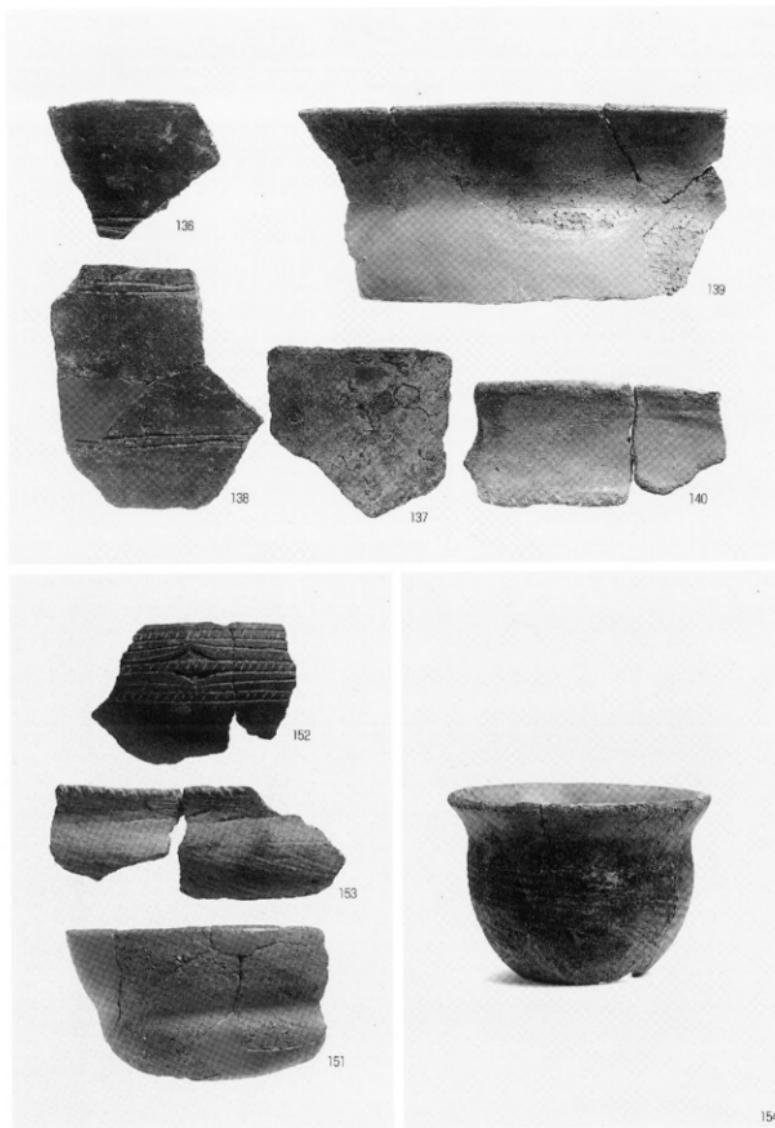
A区湿地内第9C層出土遺物(4)

圖版

14



A区湿地内第9C層出土遺物(5)

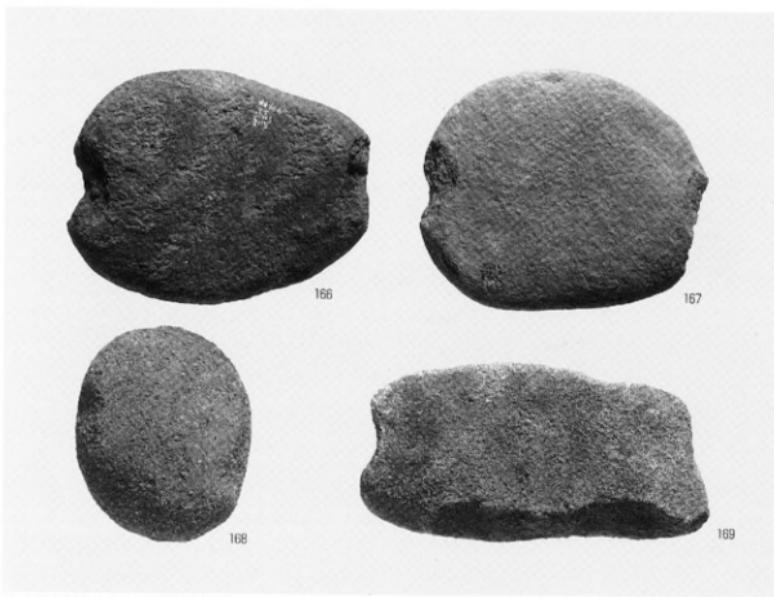


A区湿地内第9C層出土遺物(6)

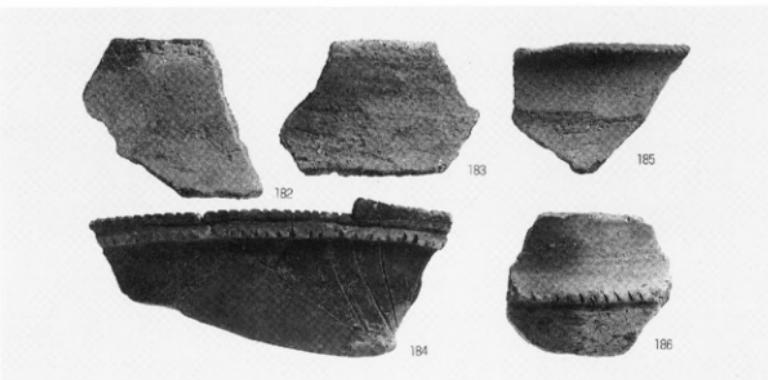
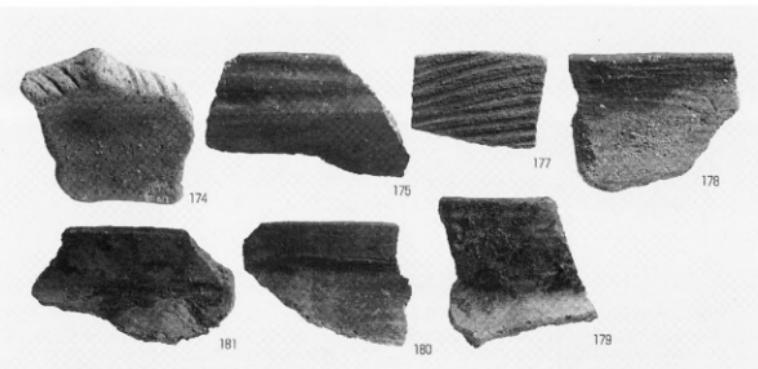
大 洞 遺 跡

圖版

16



A区湿地内第9C層出土遺物(7)



A区湿地内第9A層出土遺物(1)

圖版

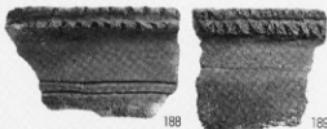
18



187



190



188

189

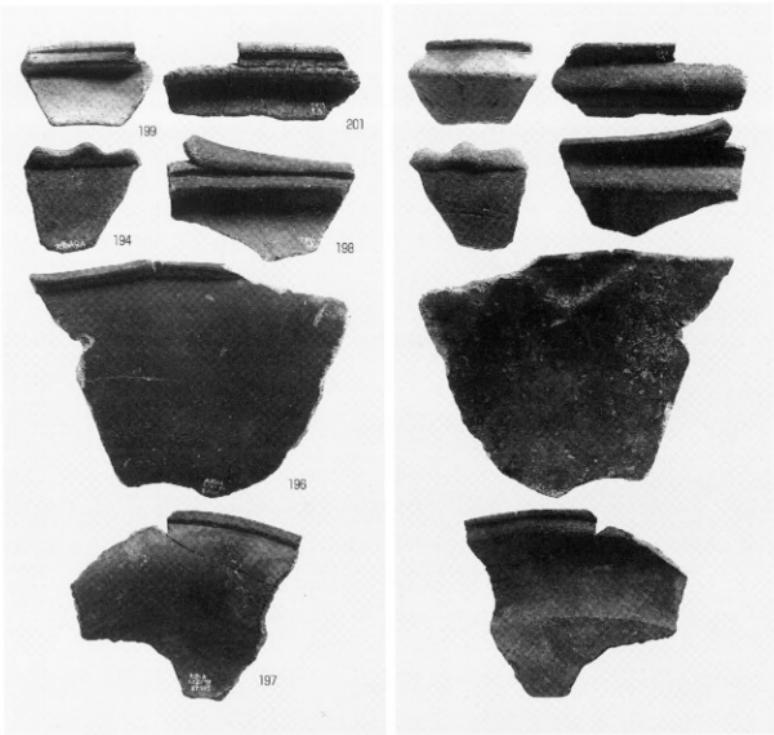


191



192

A区濕地內第9A層出土遺物(2)



200

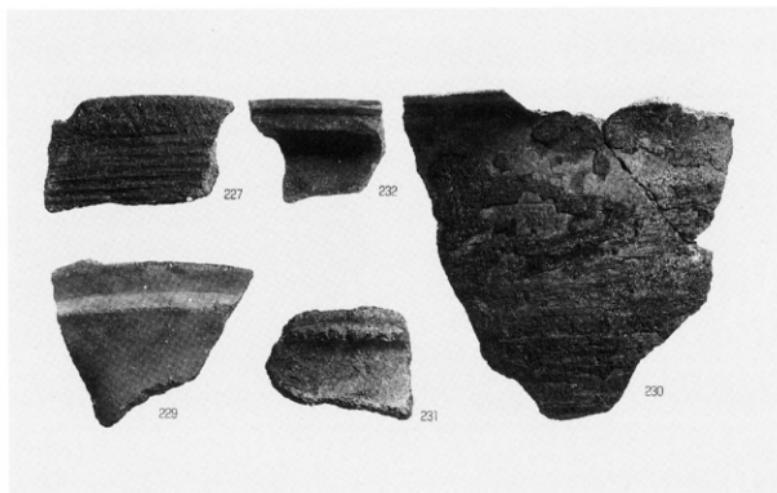
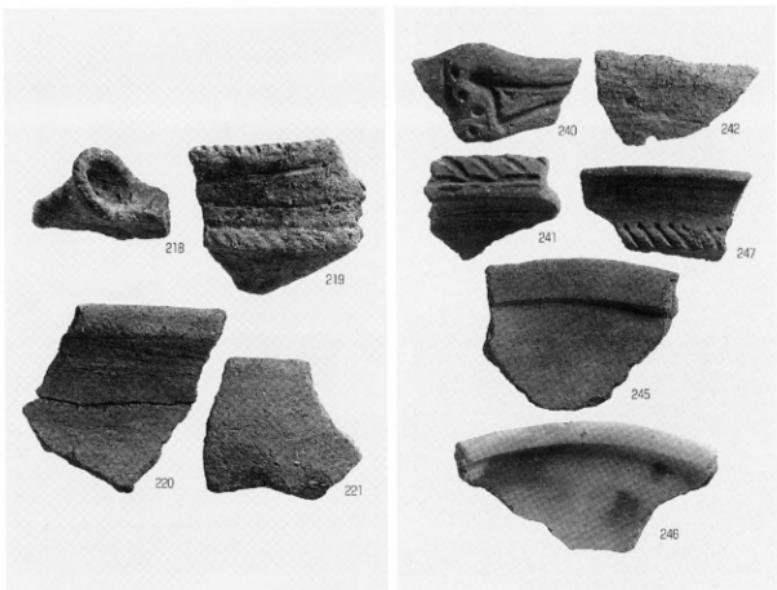
A区湿地内第9 A層出土遺物(3)

圖版

20



A区湿地内第9A+9層出土遺物



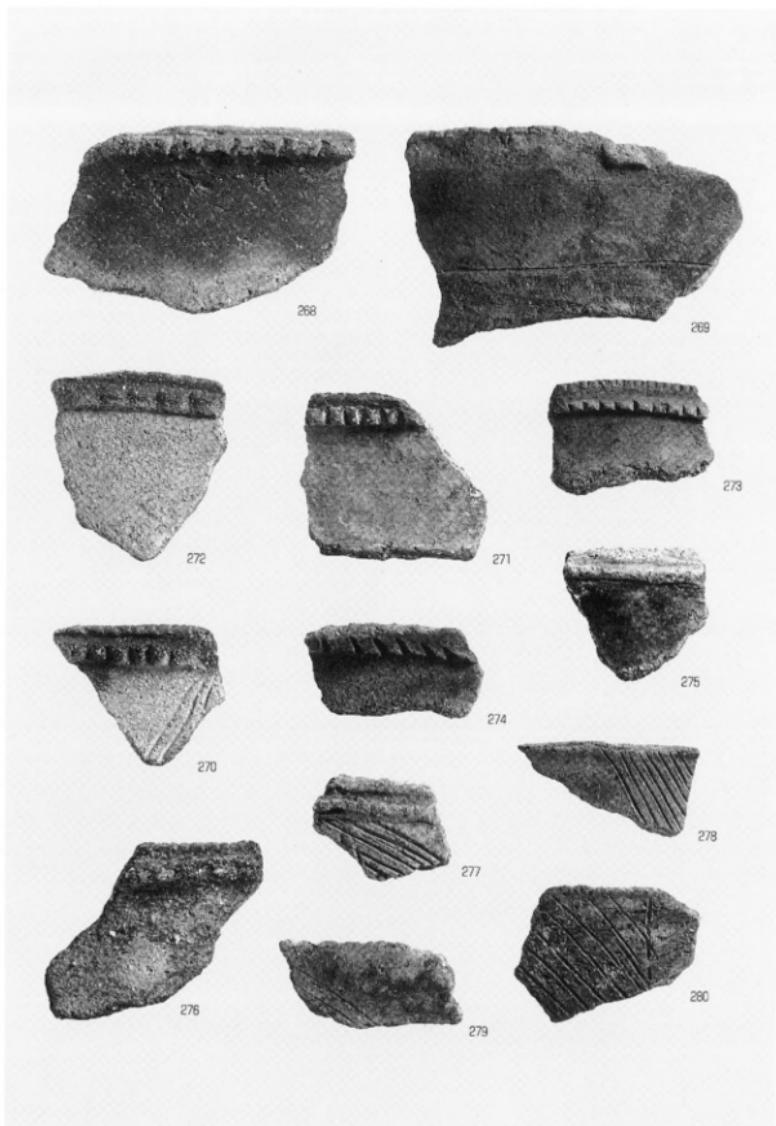
A区湿地内第9・8～9層出土遺物

圖版

22



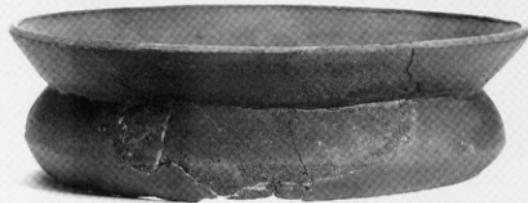
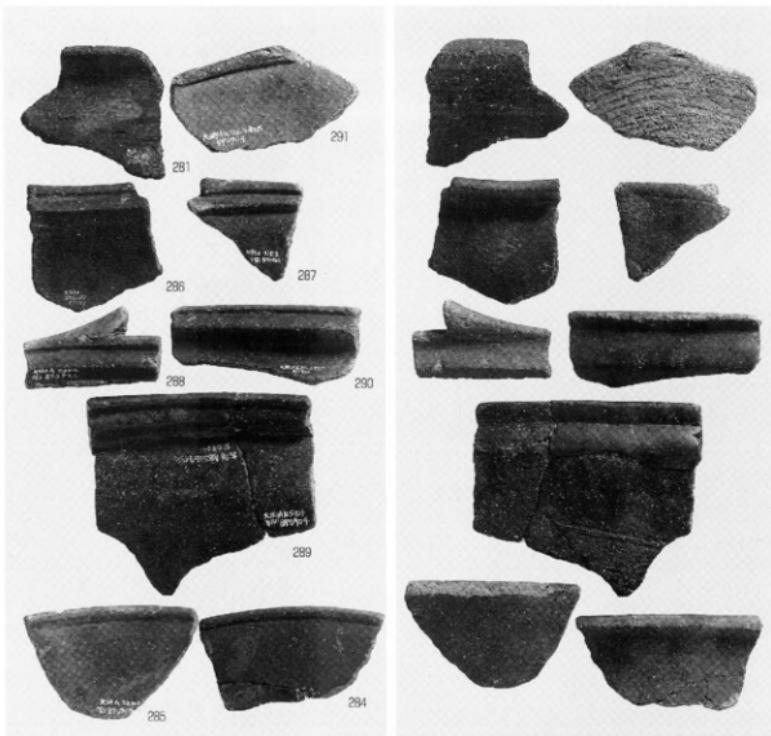
A区湿地内第8層出土遺物(1)



A区湿地内第8層出土遺物(2)

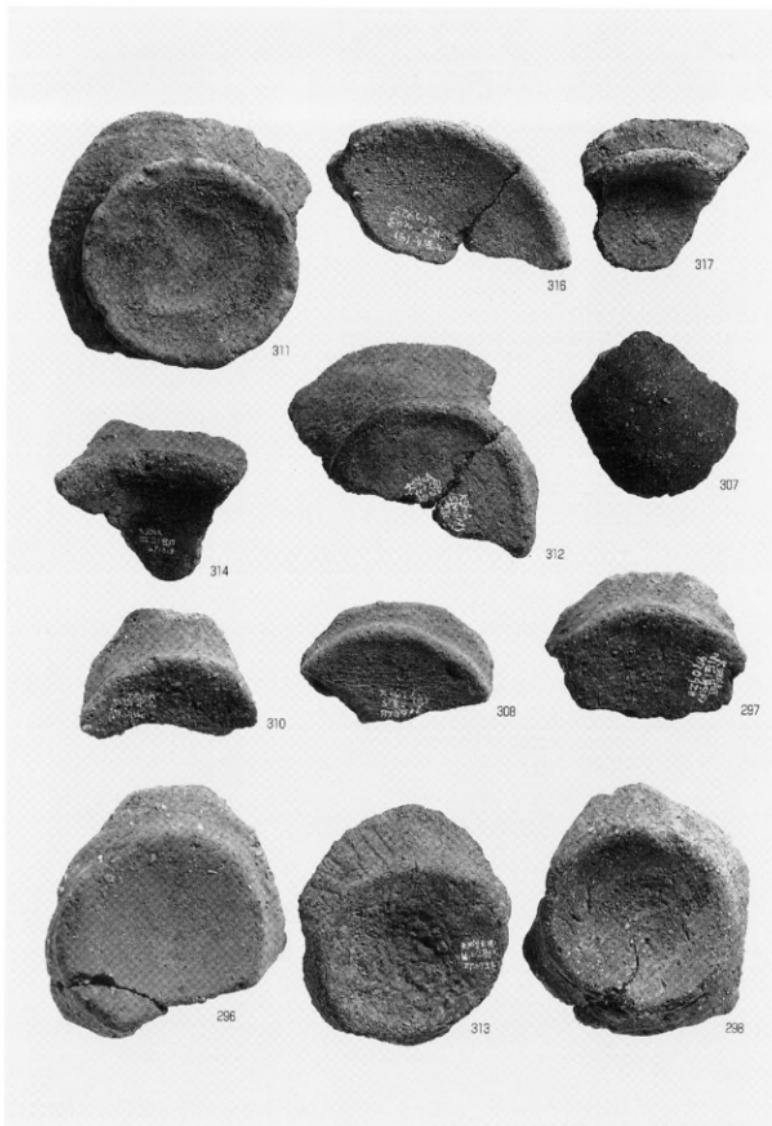
圖版

24



283

A区湿地内第8層出土遺物(3)

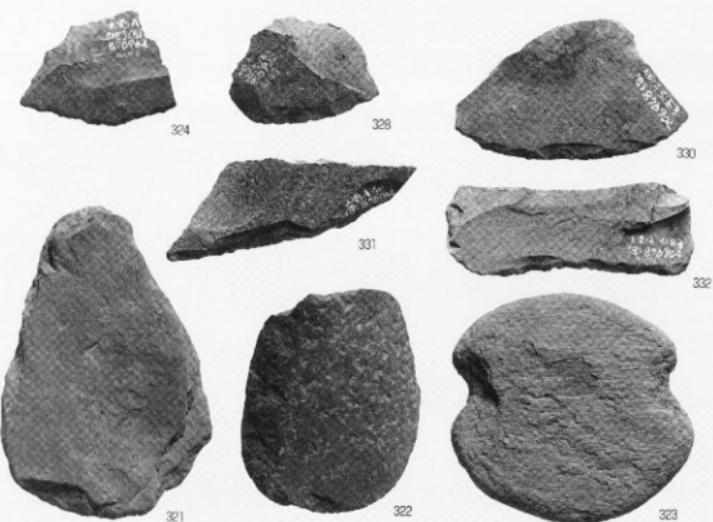


A区湿地内第8層出土遺物(4)

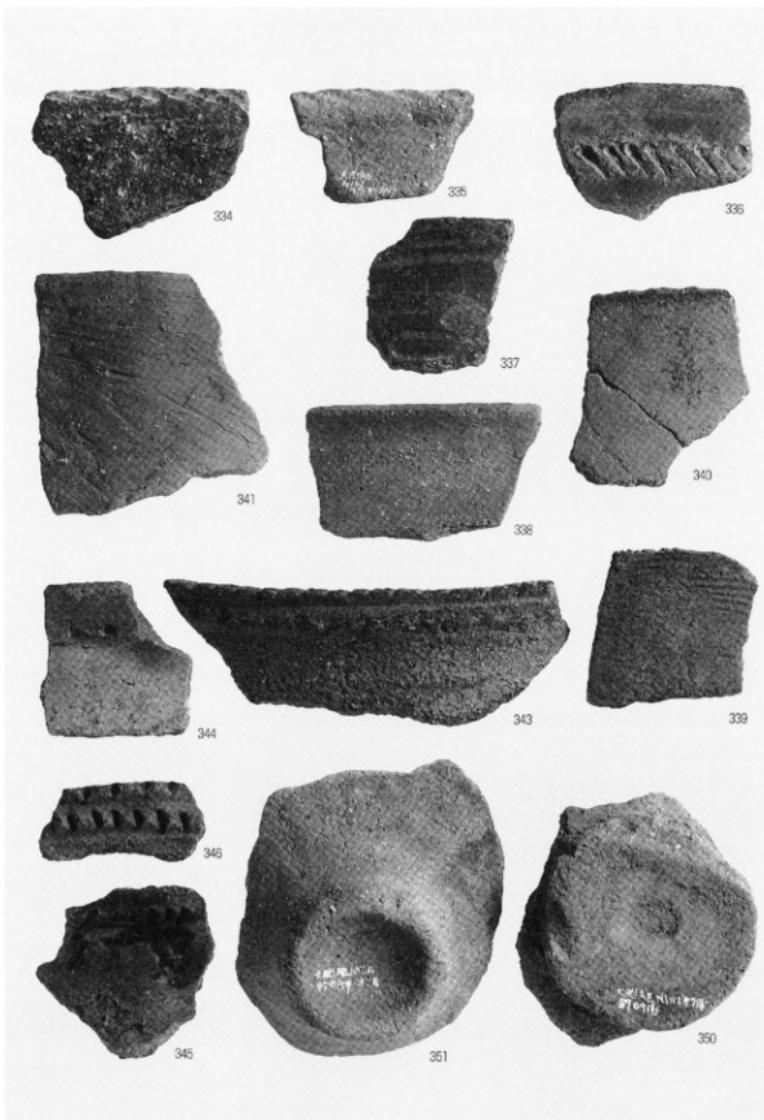
大溝遺跡

圖版

26



A区湿地内第8層出土遺物(5)



A區濕地內第7層出土遺物(1)

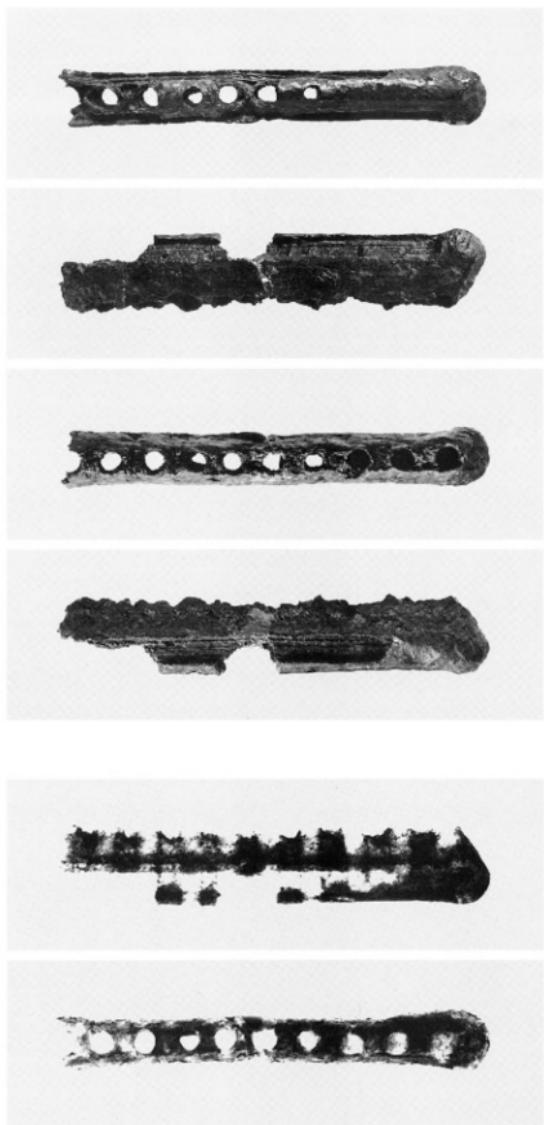
圖版

28



356

A區濕地內第7層出土遺物(2)



大洞遺跡

圖版

30



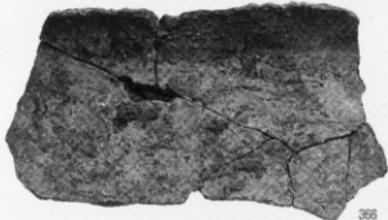
358



359



363

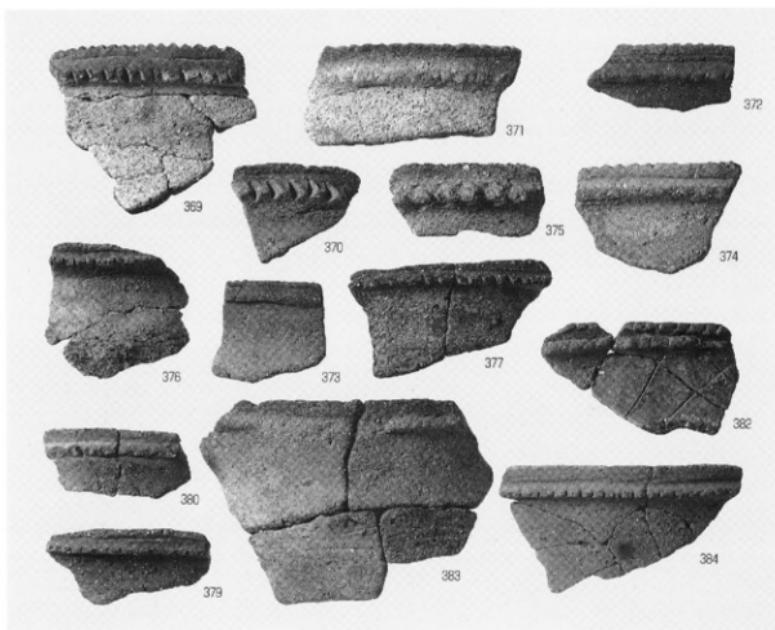


365



366

A區濕地內第6層出土遺物(1)

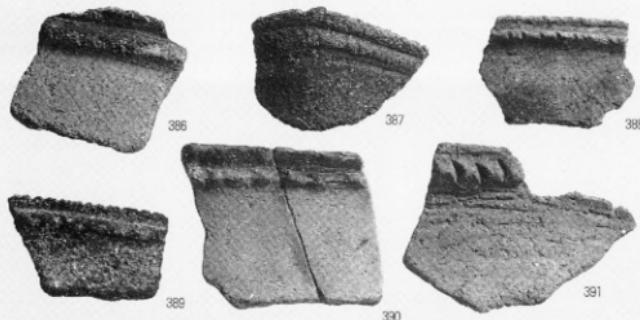


A區濕地內第6層出土遺物(2)

大河遺跡

圖版

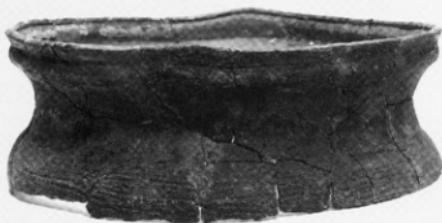
32



392



393



A區濕地內第6層出土遺物(3)



A区湿地内第6層出土遺物(4)

圖版

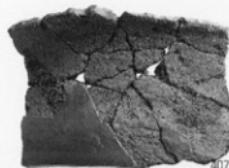
34



405



406



407



408



409



410

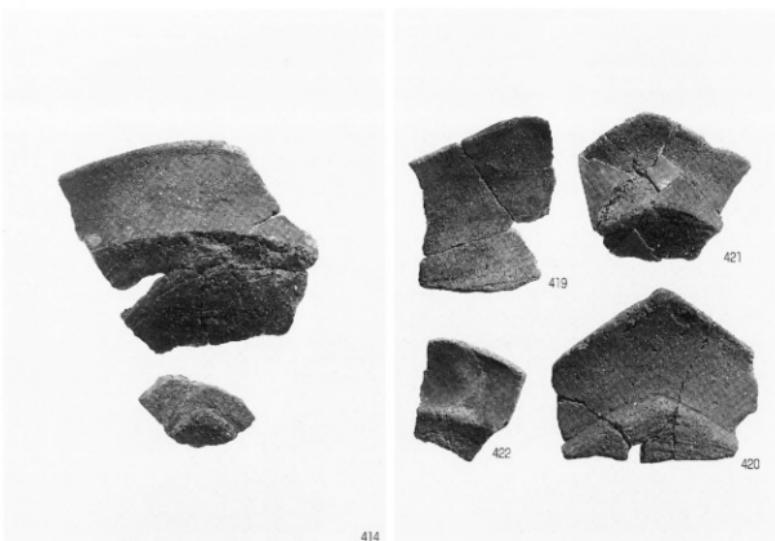


411



412

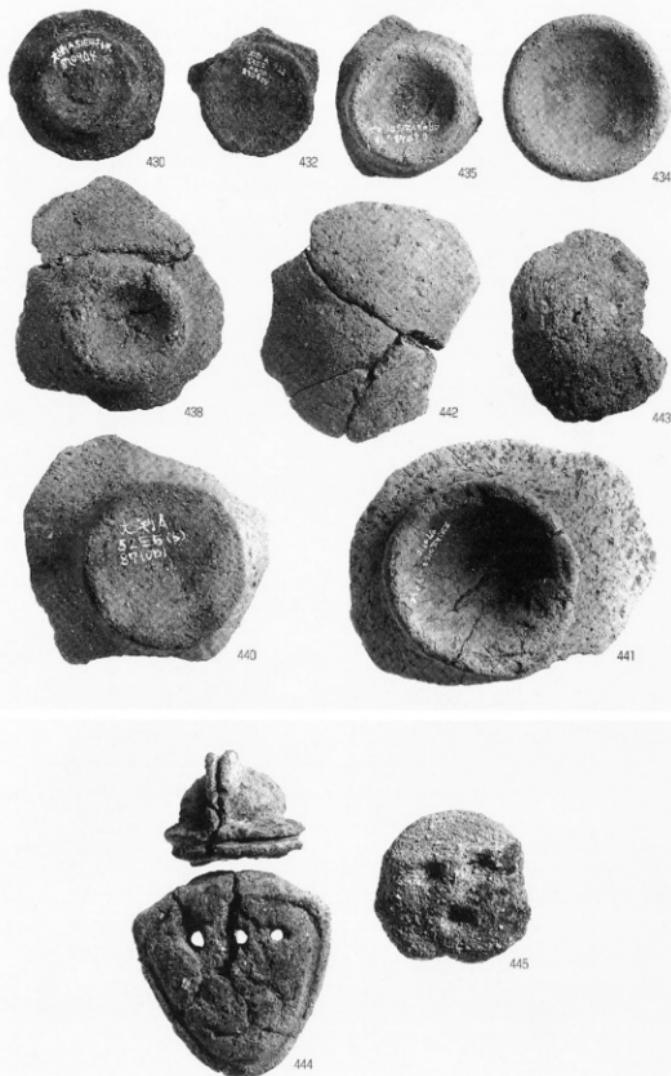
A区湿地内第6層出土遺物(5)



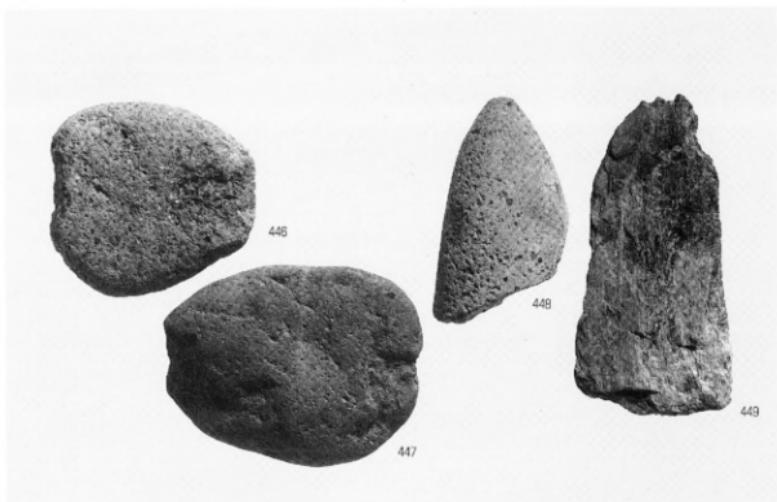
A区湿地內第6層出土遺物(6)

圖版

36



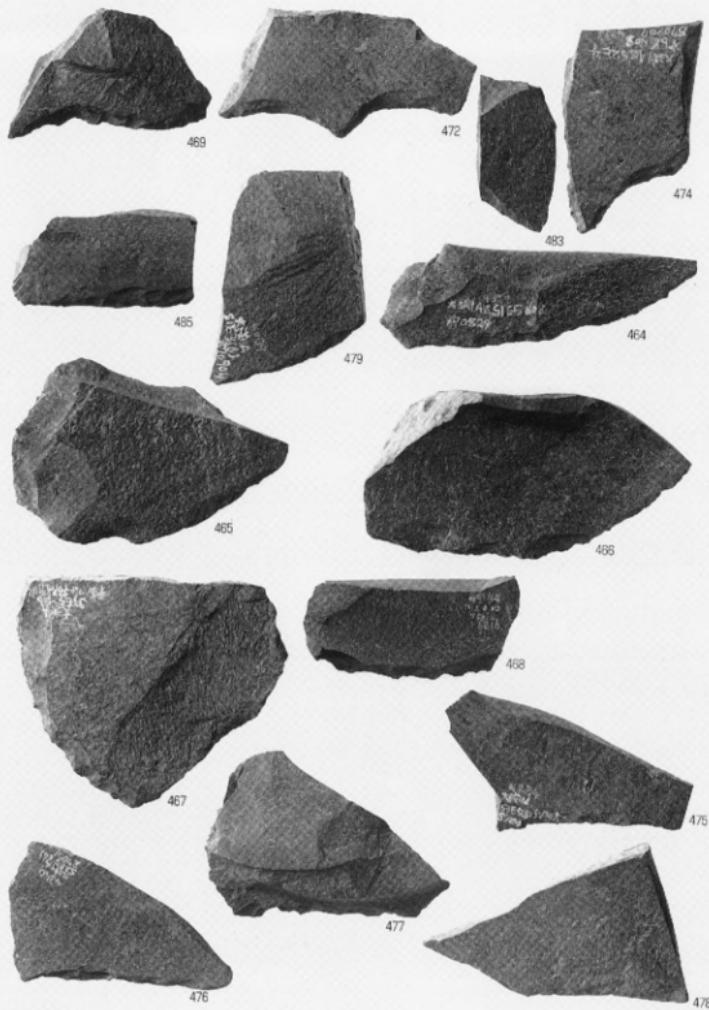
A区湿地内第6層出土遺物(7)



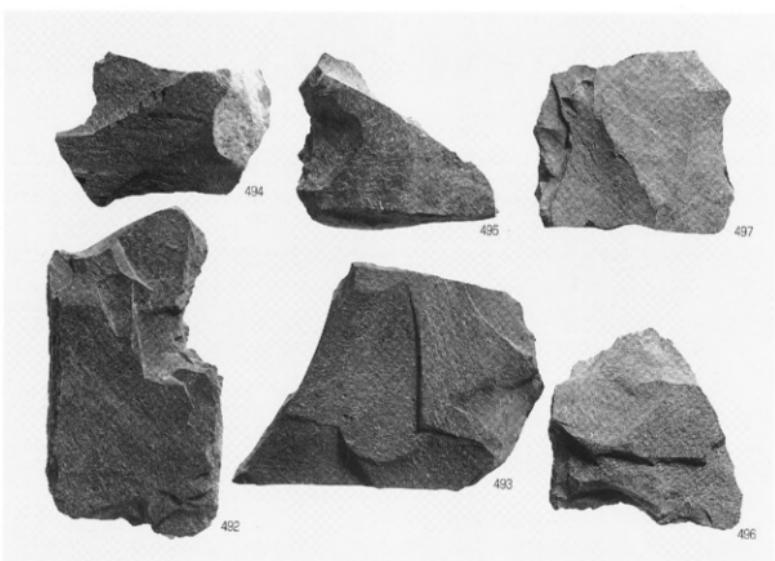
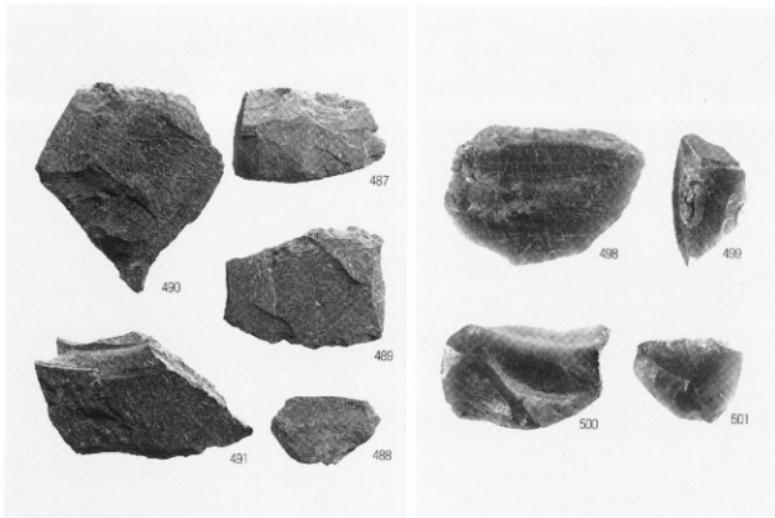
A区湿地内第6層出土遺物(8)

圖版

38



A区湿地内第6層出土遺物(9)



A区湿地内第6層出土遺物 (10)



505



513



506



503



504



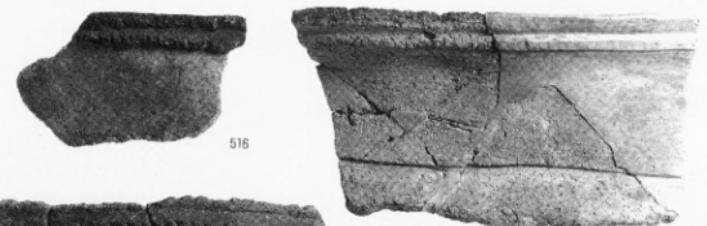
507

A区濕地內第5層出土遺物(1)



514

515



516

508



509

510



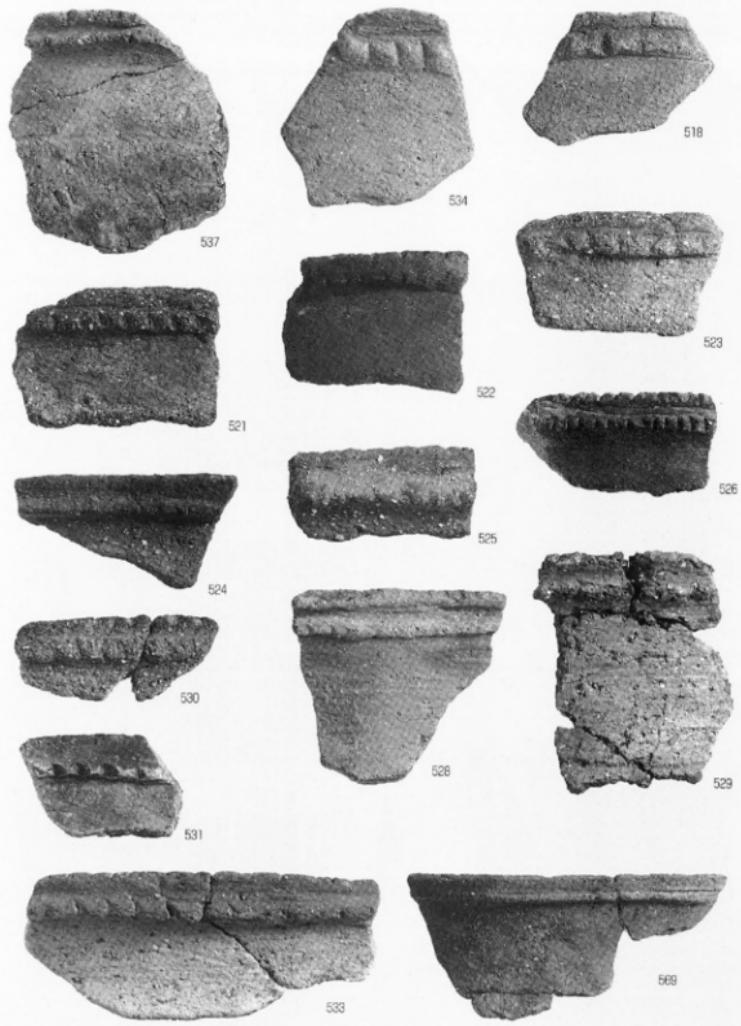
511

512

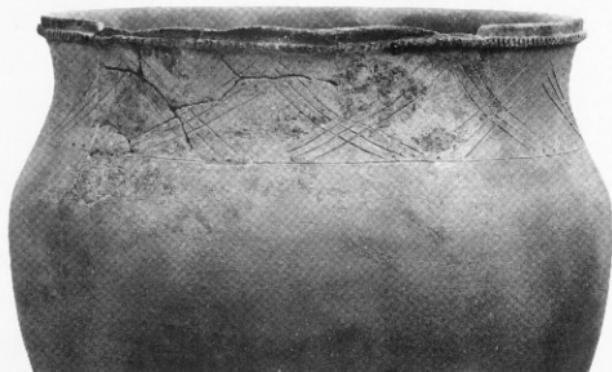
A區濕地內第5層出土遺物(2)

圖版

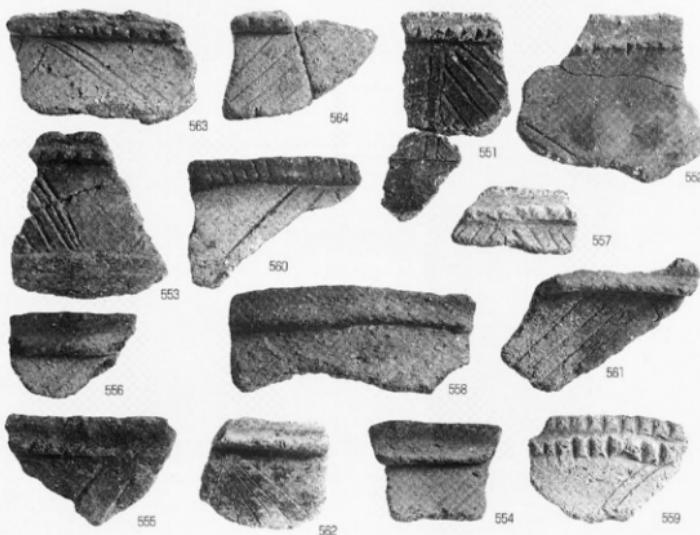
42



A区湿地内第5層出土遺物(3)



550



A区湿地内第5層出土遺物(4)

圖版

44



A区濕地內第5層出土遺物(5)

583

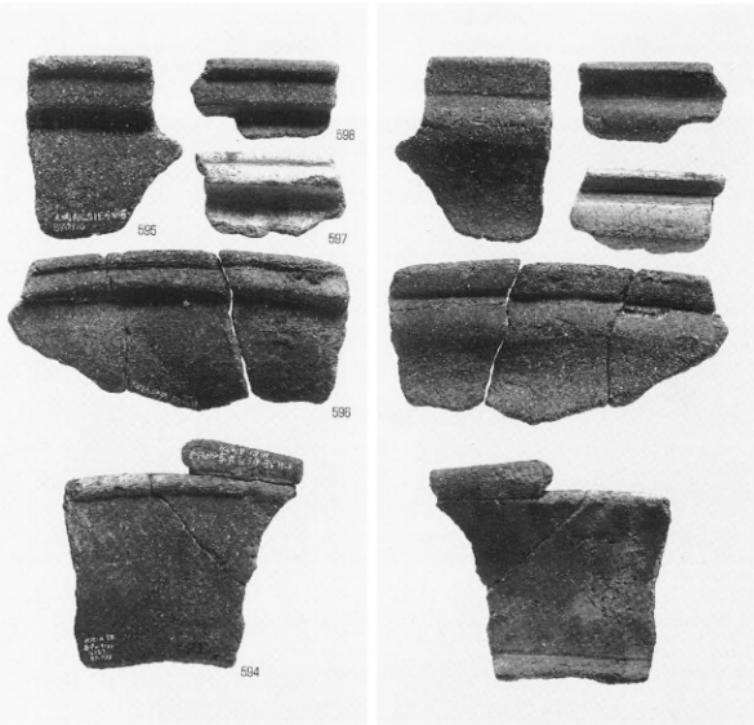


A区湿地内第5層出土遺物(6)

大調查跡

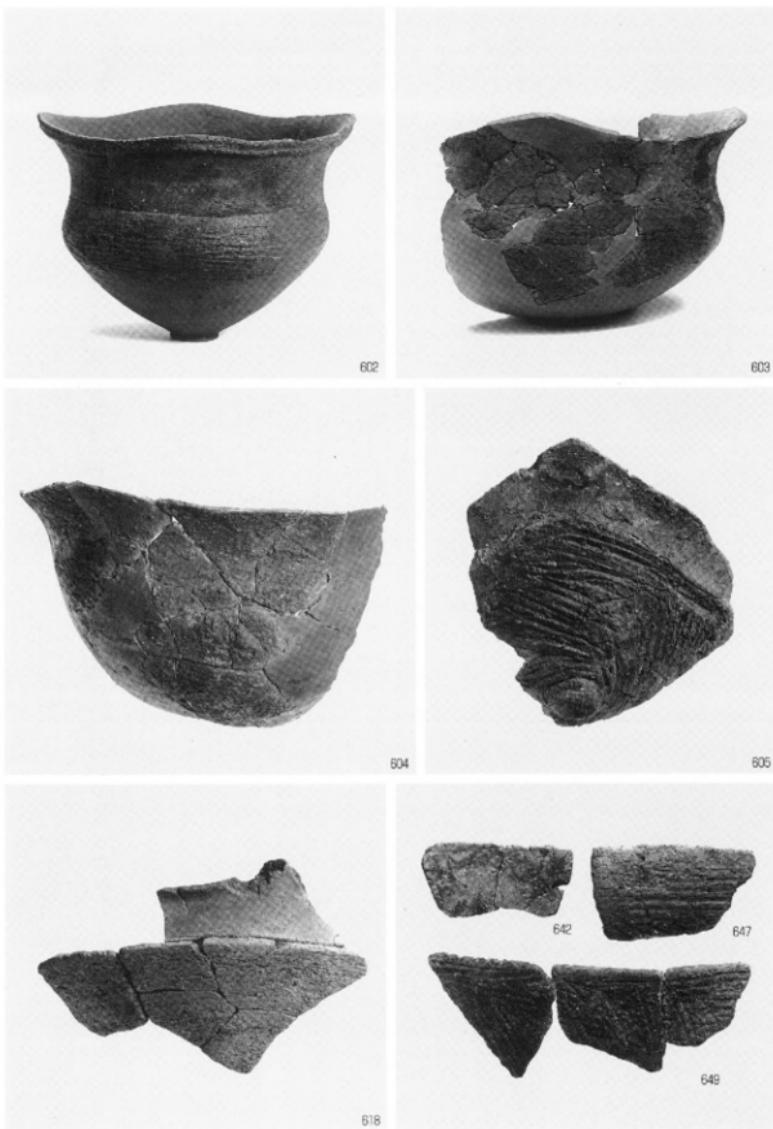
圖版

46



592

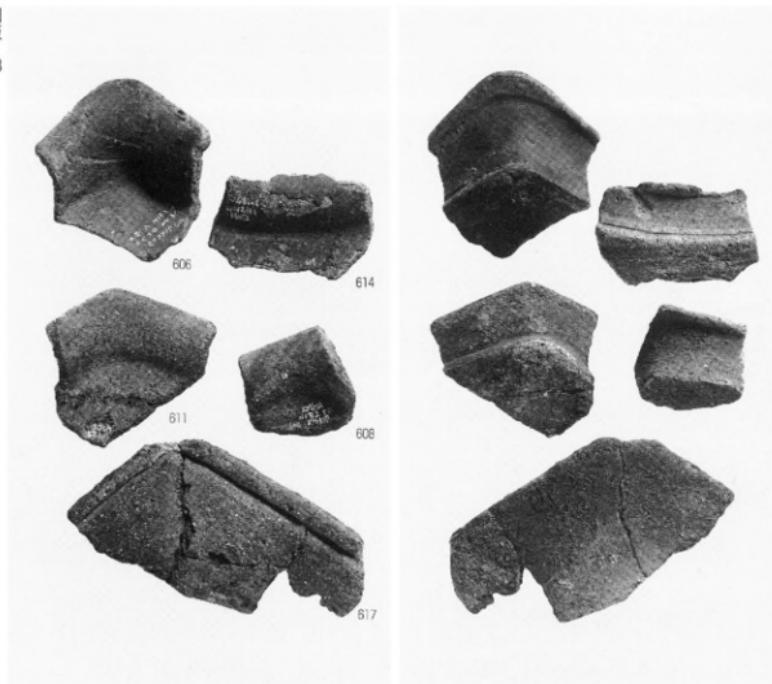
A区湿地内第5層出土遺物(7)



A区湿地内第5層出土遺物(8)

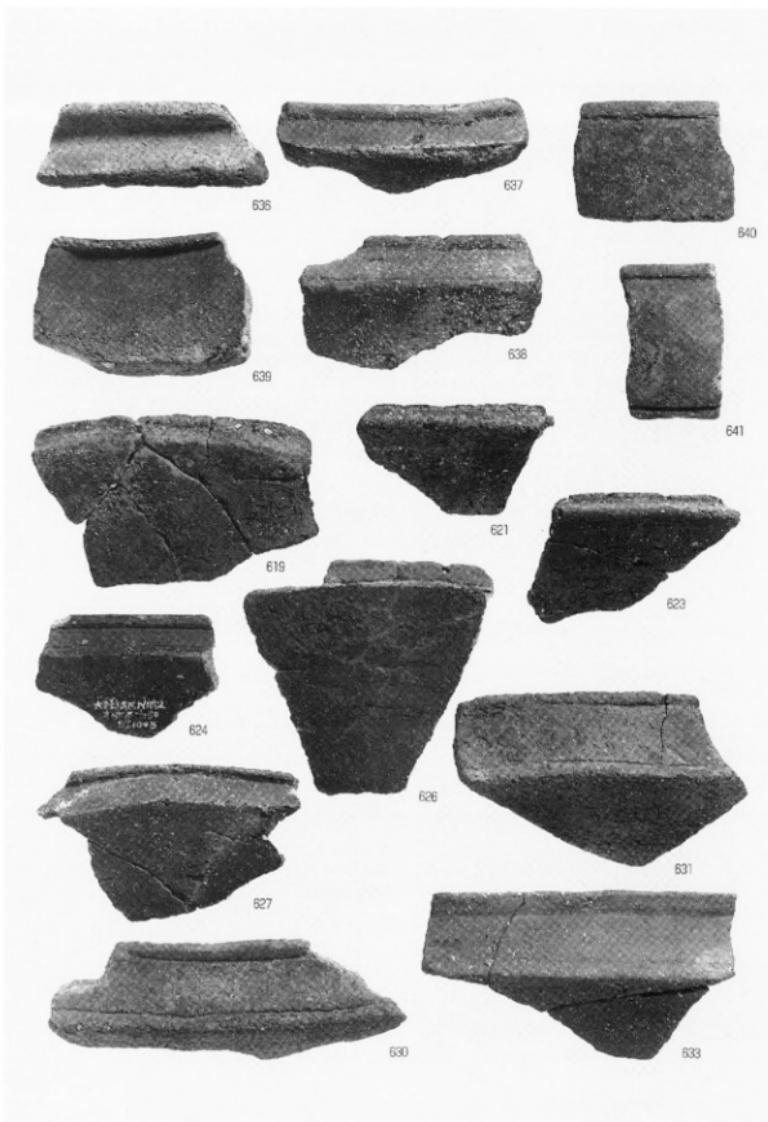
圖版

48



628

A区湿地内第5層出土遺物(9)



A区湿地内第5層出土遺物(10)

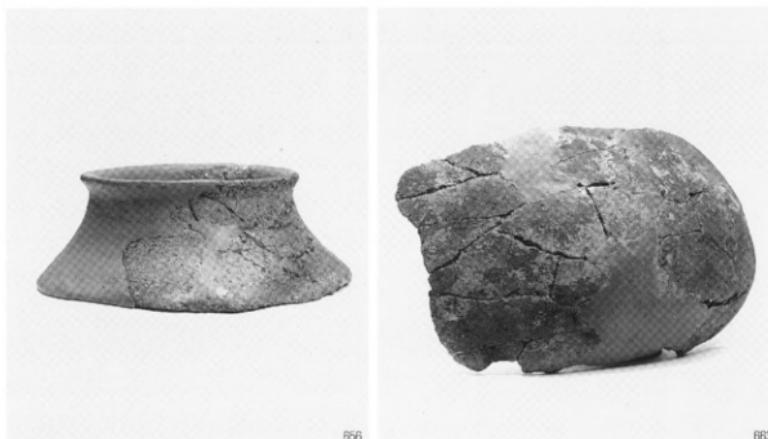
大河遺跡

圖版

50



657



656

663

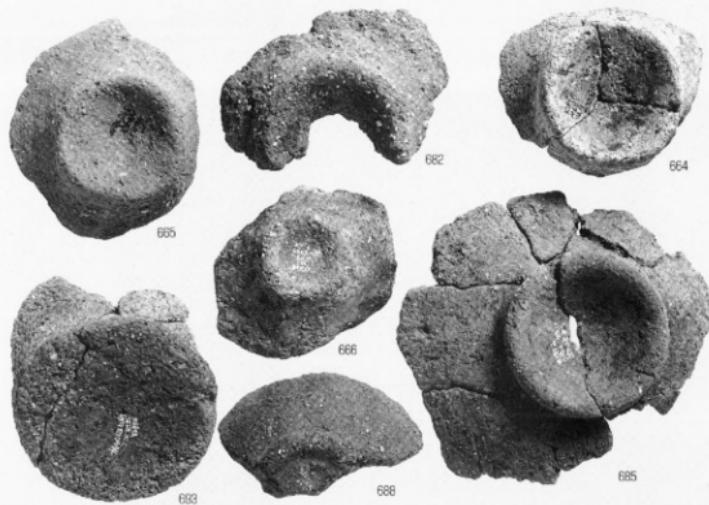
A區濕地內第5層出土遺物 (II)



A區濕地內第5層出土遺物 (12)

圖版

52

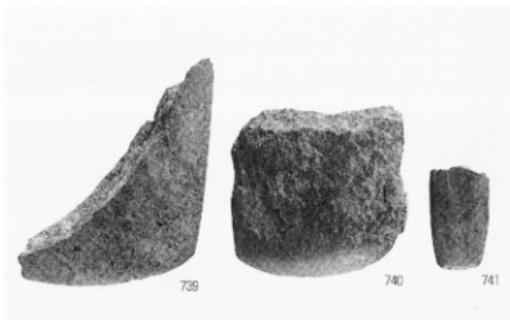


A区湿地内第5層出土遺物 (13)

大湊遺跡

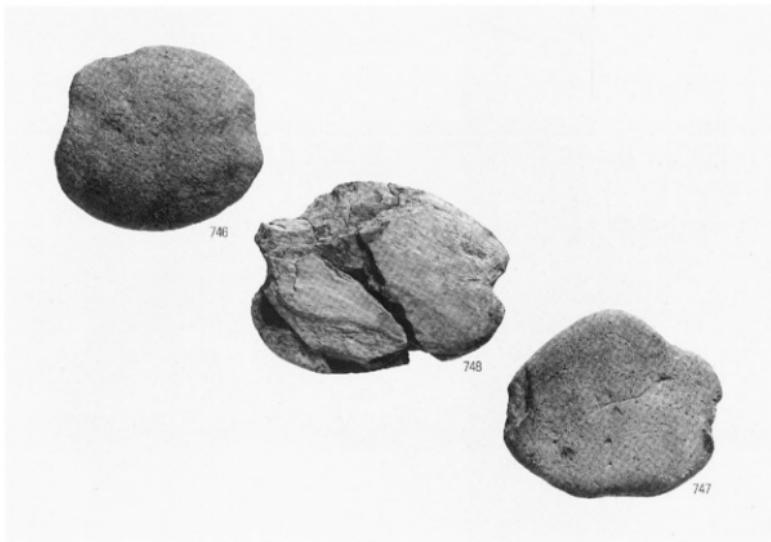
圖版

53



742

745



A区湿地内第5層出土遺物 (14)

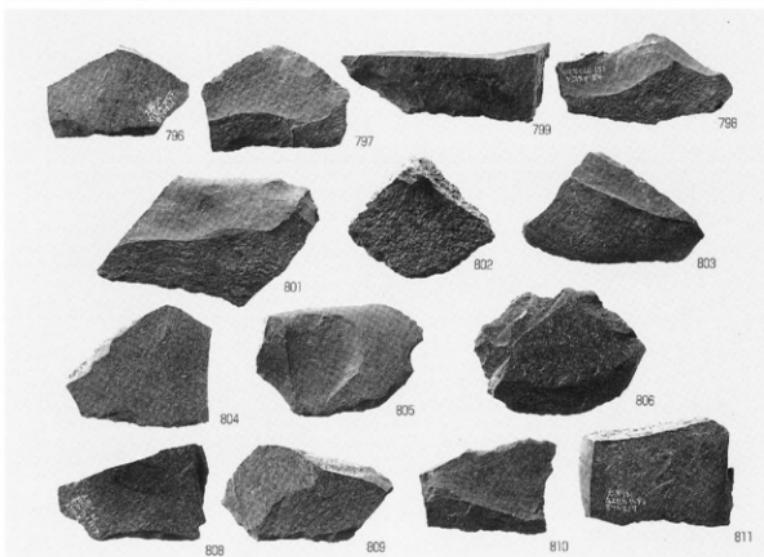
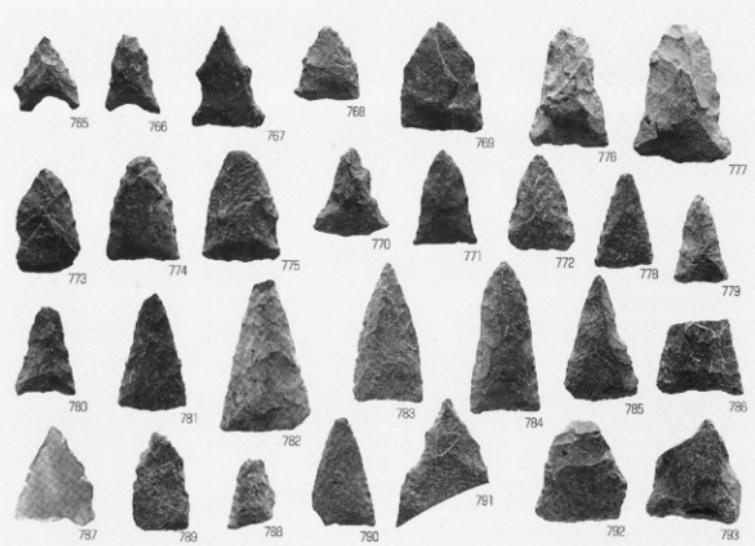
大洞遺跡

圖版

54



A区湿地内第5層出土遺物 (5)

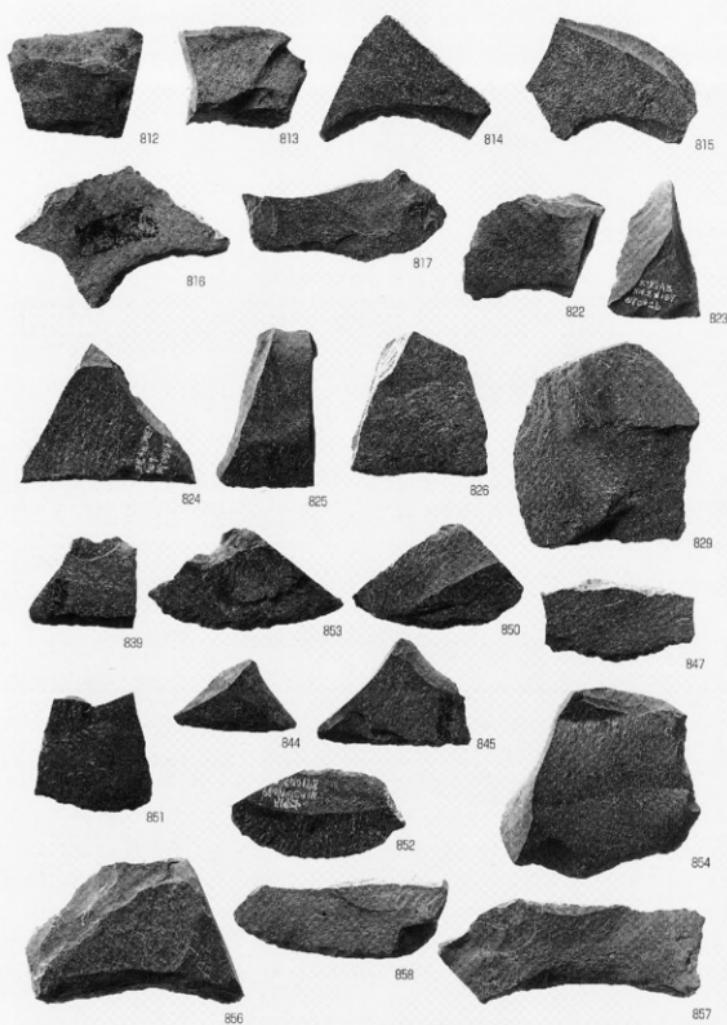


A區濕地內第5層出土遺物 (16)

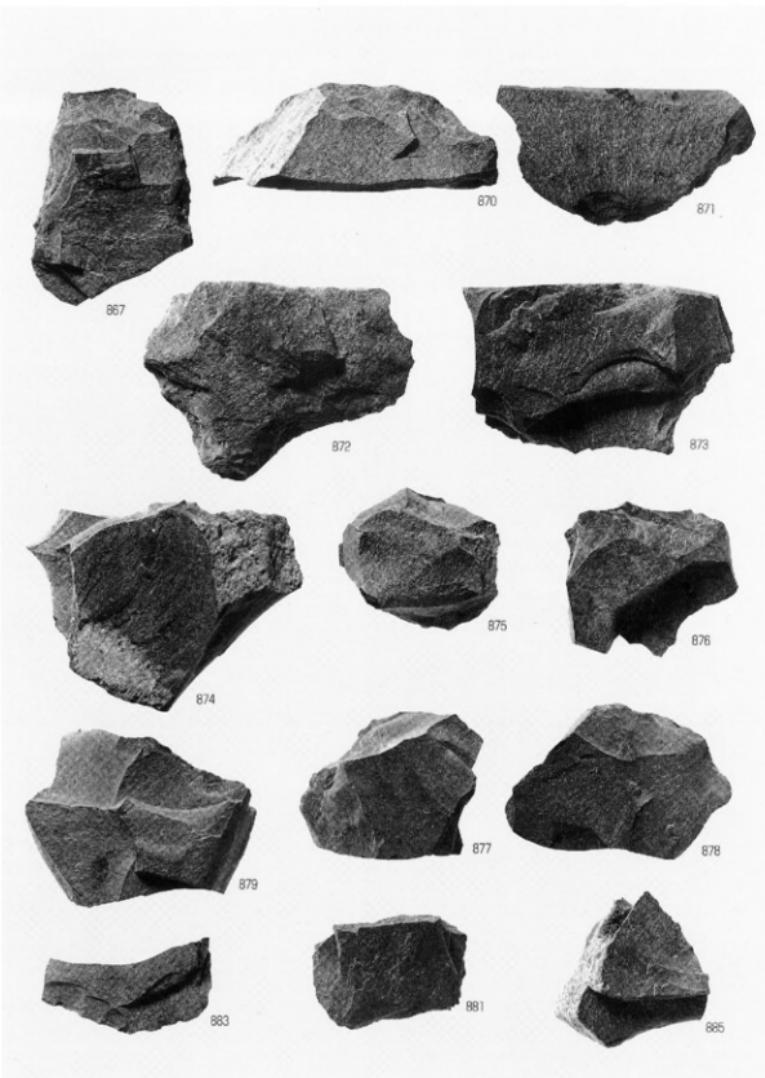
大洞遺跡

圖版

56



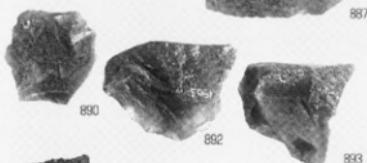
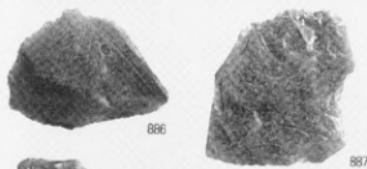
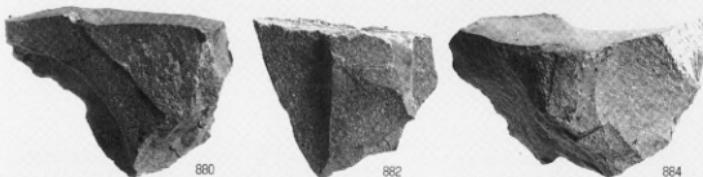
A區濕地內第5層出土遺物 (17)



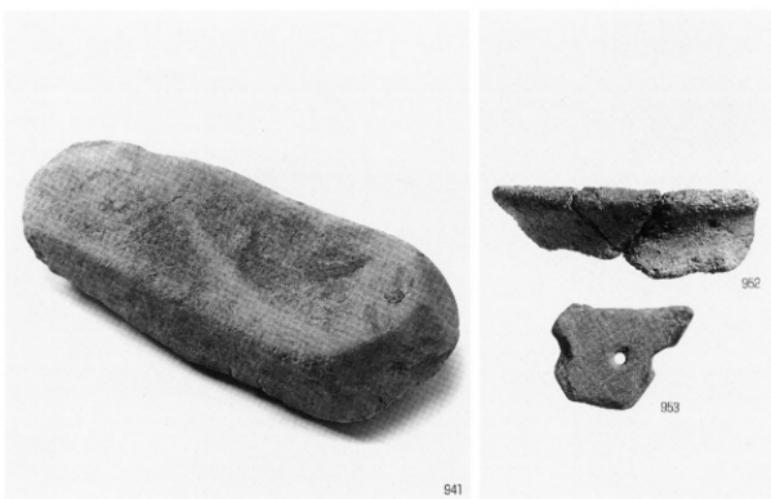
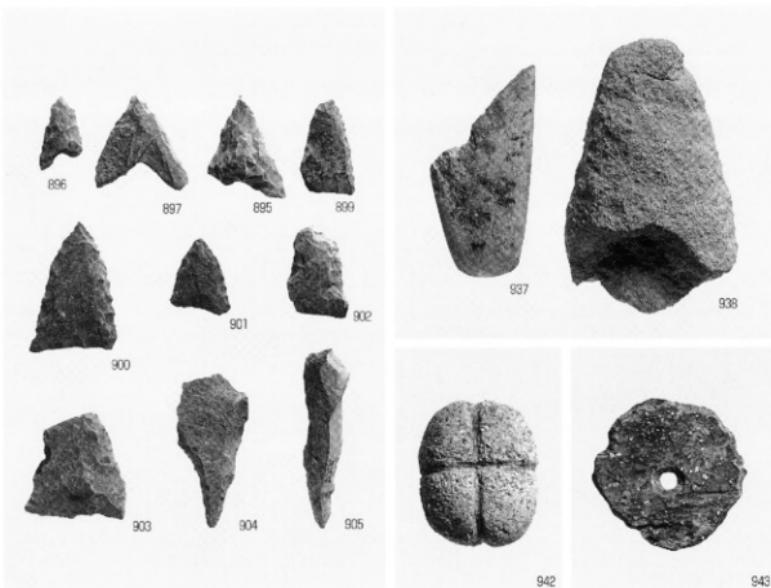
A区湿地内第5層出土遺物 (18)

圖版

58



A区湿地内第5層出土遺物 (19)

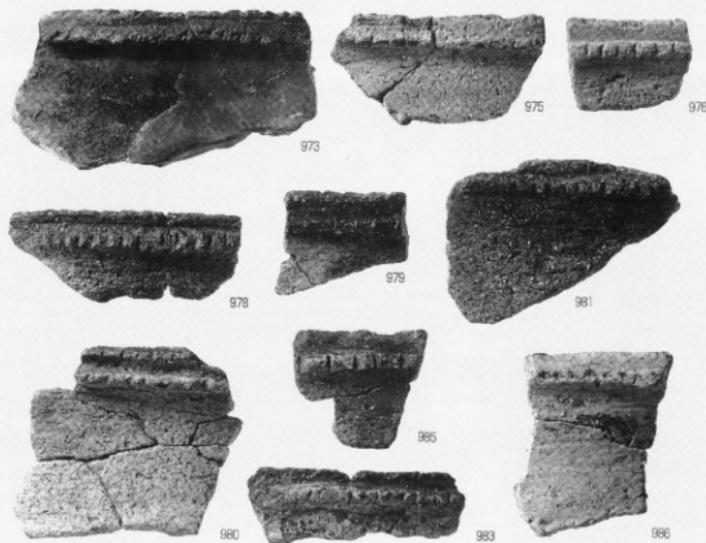


A区湿地内第5～7層出土遺物・表採遺物

大洞遺跡

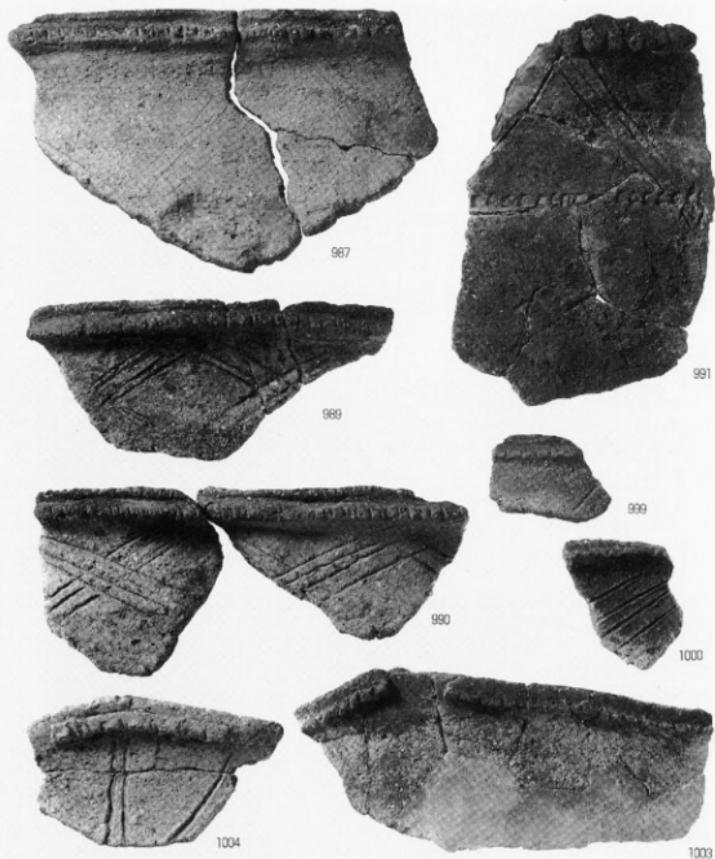
圖版

60



988

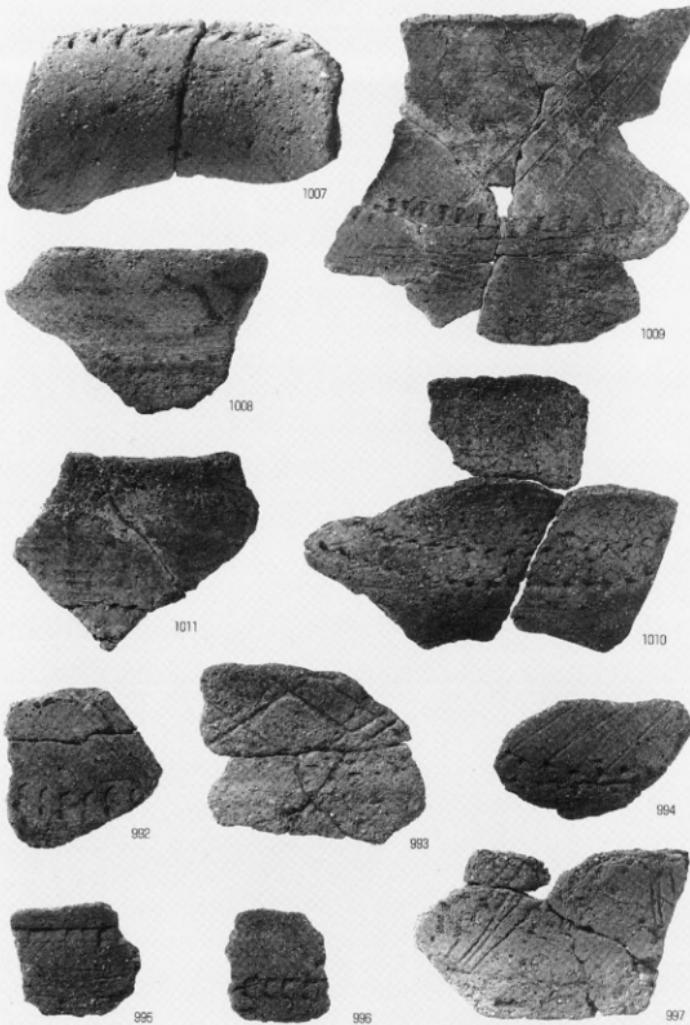
B區S X-1出土遺物(1)



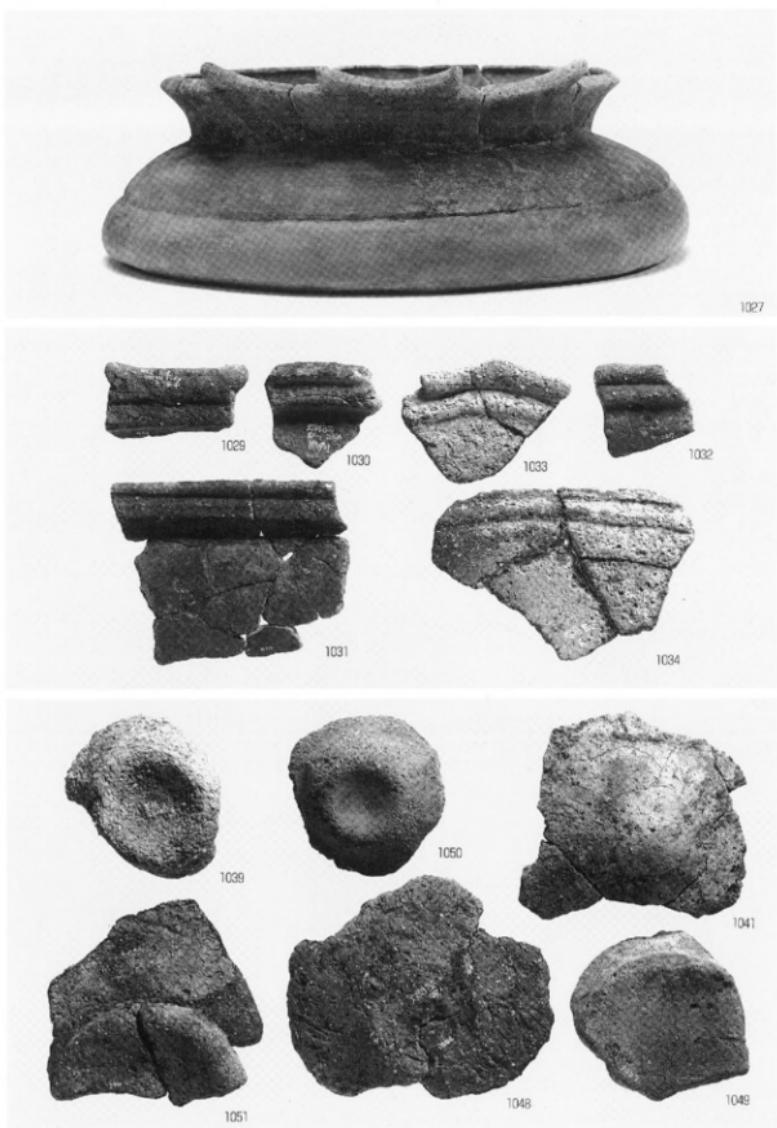
B區 S X-1 出土遺物(2)

圖版

62



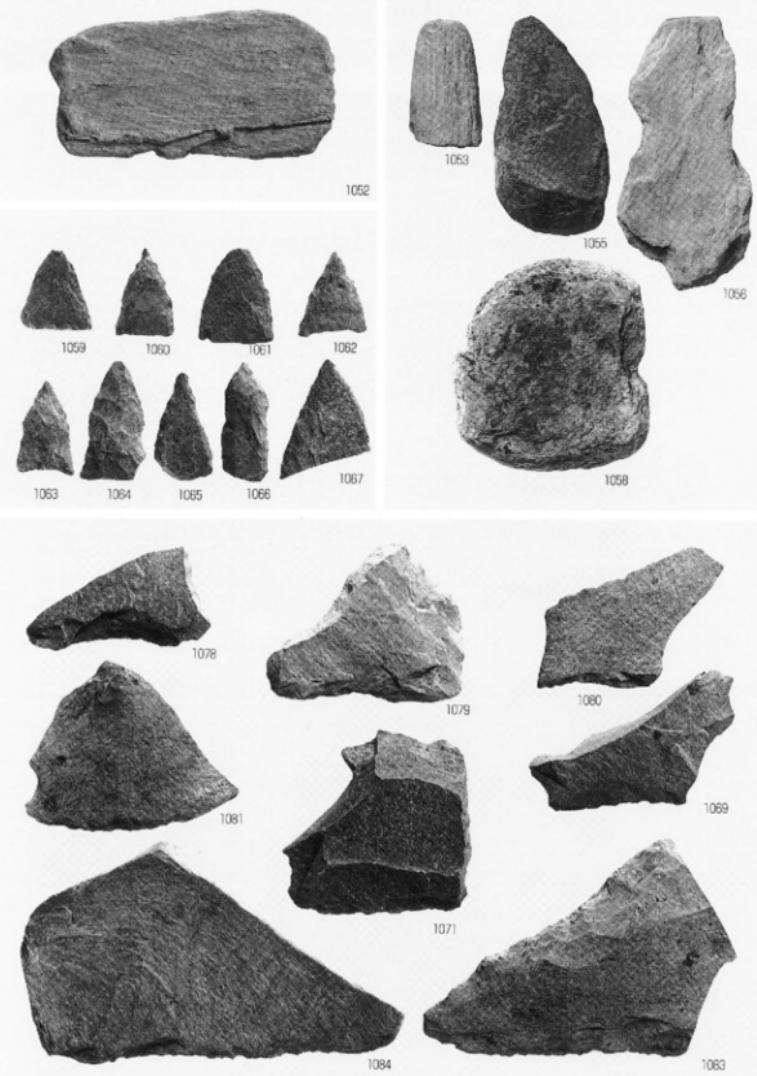
B区S X-1出土遺物(3)



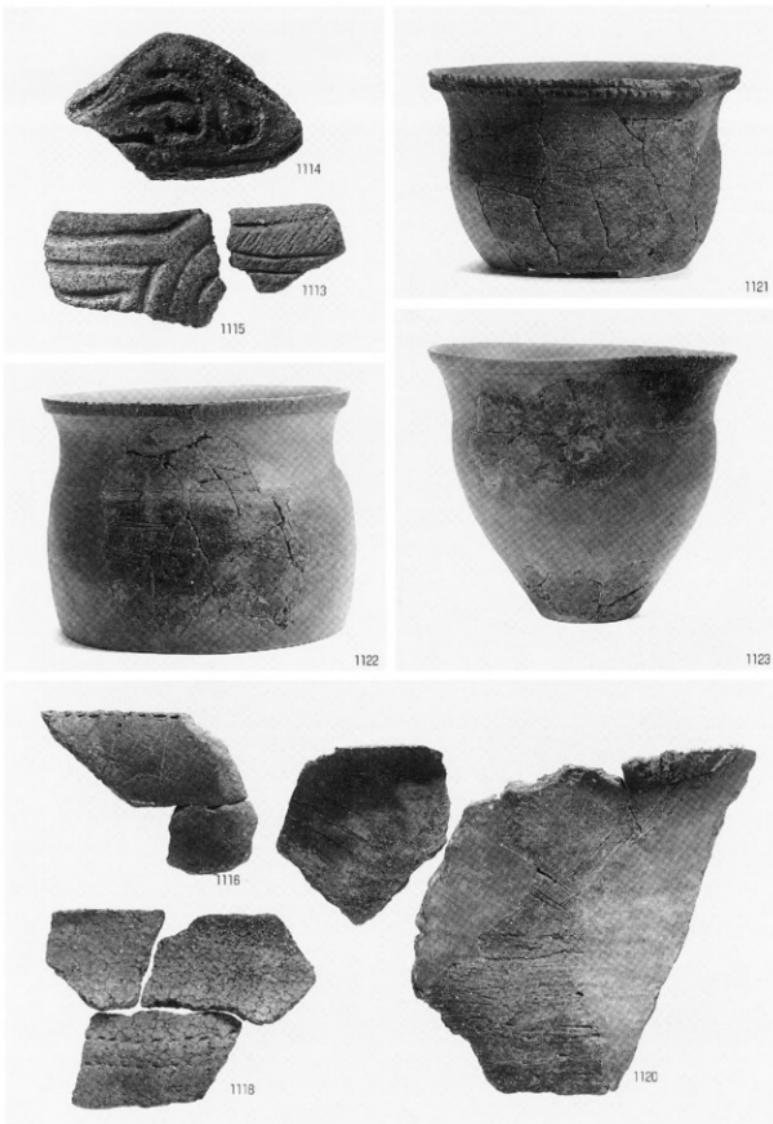
B区 SX-1 出土遺物(4)

圖版

64



B区 S X-1 出土遺物 (5)



B区湿地出土遺物(1)